

令和6年度
第2回 鶴見区民アンケート
報告書

大阪市鶴見区役所

目次

アンケート概要	1
1. 情報の入手について	9
問1 あなたは、鶴見区役所が実施する広報（『広報つるみ』、区ホームページ、SNS、区 広報板などで、必要とする区政情報が必要なときに入手できていますか。（1つ選 んでください）	9
問2 （問1で「1 できている」又は「2 ほぼできている」と回答された方へ）どのような 媒体を通じて、よく入手していますか（いくつでも選んでください）	10
問3 （問1で「3 あまりできていない」又は「4 できていない」と回答された方へ）そ の理由は何ですか（1つ選んでください）	11
問4 あなたは、鶴見区役所が発信する『広報つるみ』や区ホームページ、SNS、区広報 板を見て、区政（事業等の内容、イベントやお知らせ）について関心が高まりまし たか。（1つ選んでください）	12
2. SDGs、花や緑あふれるまちづくり等について	13
問5 鶴見区役所ではSDGs（※）の周知・広報に取り組んでいます。家庭でできる身近 なSDGsもありますが、あなたは、日頃から意識してSDGsに取り組んでいます か。（1つ選んでください）	13
問6 鶴見区では、町会などによる住民主体の手作りの活動（お祭りや子ども向けのイベ ント、防災・防犯、通学路の見守りなど）が実施されています。また、区内の各種 団体が構成される実行委員会によって、区民まつりが毎年10月に実施されていま す。鶴見区は、昭和49年の行政区再編成によって城東区から分区し、令和6年 に区制50周年を迎えました。そのため鶴見区役所では、「鶴見区制50周年記 念事業実行委員会」と連携し、本年7月21日には区制50周年記念式典・音 楽祭、10月27日には区制50周年記念イベントに取り組んできました。これらの 一連の取組みは、あなたにとって鶴見区への愛着を高めることにつながっていると感じ ますか。（1つ選んでください）	14
問7 あなたは、鶴見区が花や緑あふれるまちと感じますか。（1つ選んでください）	15
3. まなびを通じたつながりづくりについて	16
問8 鶴見区役所では、「人権啓発推進セミナー」「ヒューマンシアター」「校下別人権学習 会」「人権啓発イベント」「人材育成講座」「街頭啓発」などの人権教育・啓発の取 組みを行っています。あなたは、鶴見区役所で実施している取組みを通して、「一人 ひとりが互いに認め合い、受け容れ、ともに生きる」人権尊重のまちづくりが進んでい ると感じますか。（1つ選んでください）	16
問9 （問8で「3 どちらかといえば感じない」「4 感じない」と回答された方へ）人権 尊重のまちづくりが進んでいると感じない理由は何ですか。（いくつでも選んでくだ さい）	17
問10 鶴見区役所では、「生涯学習ルーム」「生涯学習ルームフェスティバル」「生涯学習 セミナー」「おもてなし茶会」「生涯学習一日体験 学び舎つるみ」「家庭教育支援 講座」「はぐみネット」などの生涯学習の取組みを行っています。あなたは、生涯学 習の取組みや地域ボランティア活動などによるまなびを通して、人との関わりやつなが りができると感じますか。（1つ選んでください）	18
問11 （問10で「3 どちらかといえば感じない」「4 感じない」と回答された方）まな	

びを通して人との関わりやつながりができると感じない理由は何ですか。（いくつでも選んでください）	19
4. 地震・風水害等の災害について	20
問 12 あなたは、備蓄などいざという時に備えていますか。（いくつでも選んでください。また【開始時期】も✔してください）	20
問 13 鶴見区では、小学校区単位で地域のさまざまな課題解決のため「地域活動協議会」が活動しており、地域防災力向上のため、学校や公園などで防災訓練を実施しています。あなたは、これまで鶴見区内で開催された防災訓練に参加したことがありますか。（1つ選んでください）	24
問 14 （問 13 で「2 参加したことがない」と回答された方へ）その理由は何ですか？（いくつでも選んでください）	25
問 15 鶴見区役所では、地域で実施されている防災訓練のほか、さまざまな防災事業を行っています。あなたが知っている防災事業を選んでください。（いくつでも選んでください）	26
問 16 鶴見区役所では、地震や風水害など危機事象ごとの計画をまとめた「鶴見区防災計画」（鶴見区ホームページに掲載）について作成しています。あなたは、「鶴見区防災計画」などの取り組みを知っていますか。（1つ選んでください）	27
問 17 鶴見区役所では、大阪防災アプリの活用推奨をはじめ、さまざまな媒体を用いて防災に関する情報発信を行っています。あなたが防災に関する発信方法で有効だと思う媒体を選んでください。（いくつでも選んでください）	28
問 18 あなたは、鶴見区役所で実施している取り組み（区民の防災意識の向上や地域防災力の強化に向けた支援など）が、今後の災害に対する備えにつながっていると感じますか。（1つ選んでください）	30
5. 安全で住みやすいまちづくりについて	31
問 19 鶴見区役所では、さまざまな防犯事業(※)に取り組んでいます。あなたは、鶴見区が実施している防犯事業が、区の犯罪抑止につながっていると感じますか。（1つ選んでください）	31
問 20 あなたは、鶴見区は安全で住みやすいまちと感じますか。（1つ選んでください）	32
6. 鶴見区全般について	33
問 21 今後、だれもが安心して暮らせるまちづくりを進めるにあたり、取り組んだらよいと思うアイデア等がありましたら、ご記入ください。	33
調査票	38

（参考）クロス集計 別紙

アンケート概要

(1) 区民アンケートの目的

サイレントマジョリティなど表面化しにくい区民からの多様な意見等の収集・把握を行い、施策・事務事業を進めるうえでの基礎資料とする。

(2) 第2回区民アンケートの実施状況

調査期間：令和6年12月2日(月)～令和6年12月23日(月)

調査対象：令和6年9月末日時点で無作為抽出した18歳以上80歳未満の鶴見区民(外国籍住民を含む)1,000人

調査方法：調査票を郵送し、同封の返信用封筒による回答またはインターネットによる回答により実施

配布数：1,000件(うち、郵送不達数5件、有効配布数995件)

有効回答数：544件(うち、郵送回収406件、オンライン回答138件)

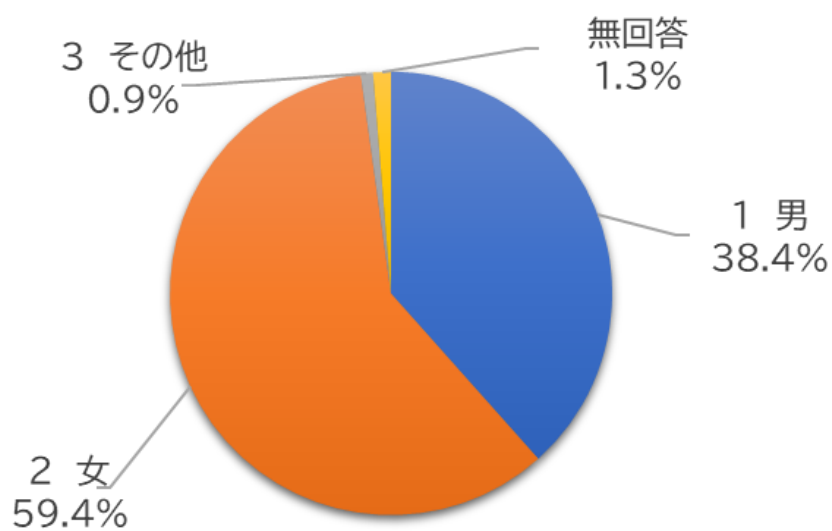
有効配布数に対する回答率：54.7%

(3) ご回答いただいた方の基本事項について

【性別】

	回答件数・割合		(参考)住民基本台帳人口・割合	
男性	209	38.4%	40,248	48.2%
女性	323	59.4%	43,300	51.8%
その他	5	0.9%	-	-
無回答	7	1.3%	-	-
合計	544	100%	83,548	100%

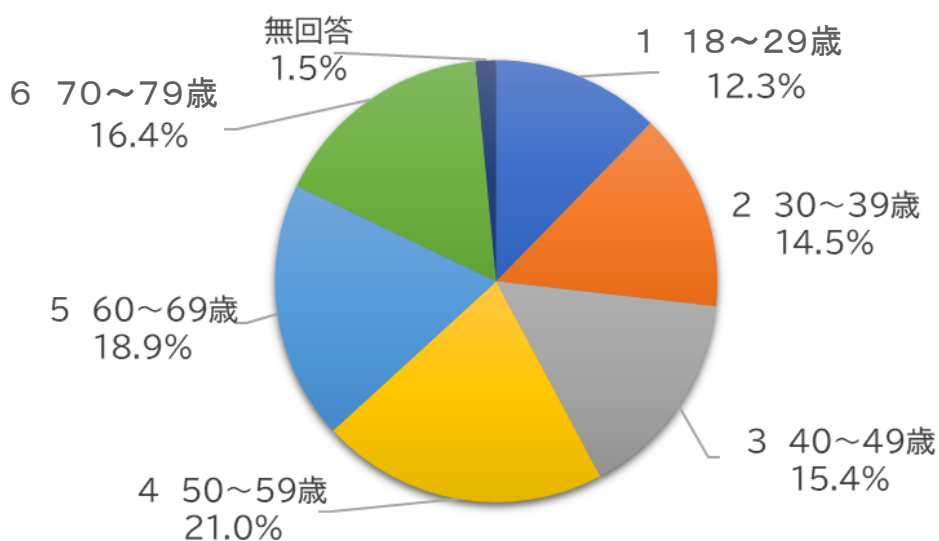
住民基本台帳人口と比べ、回答者は女性の割合が高くなっています。



【年齢】

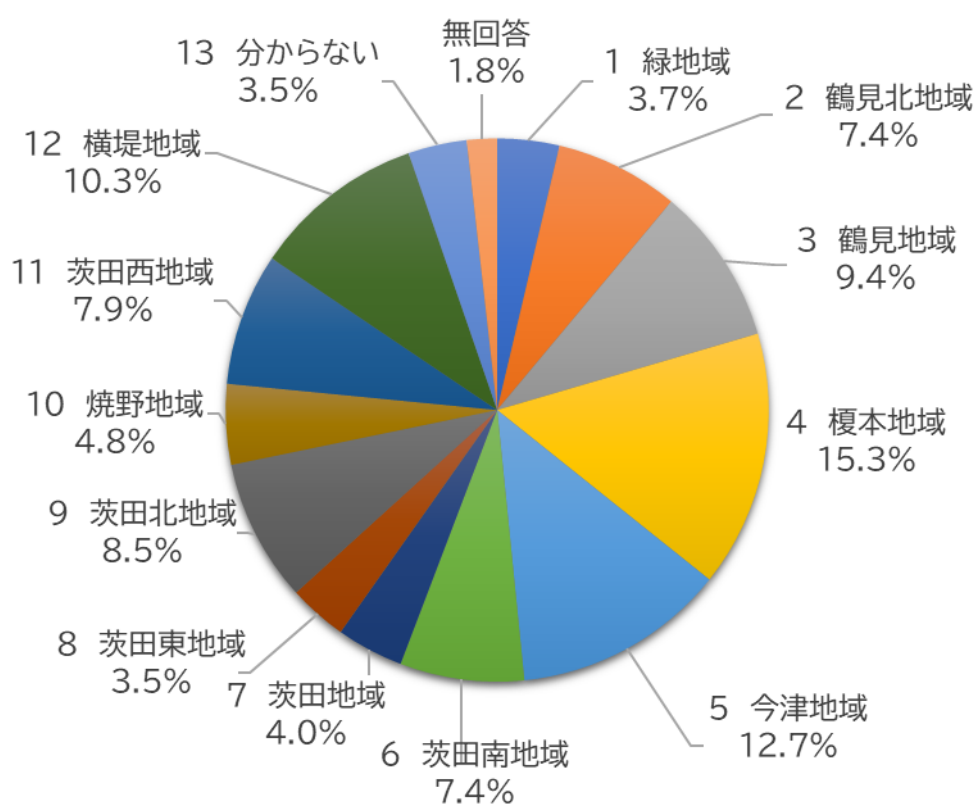
	回答件数・割合		(参考)住民基本台帳人口・割合	
18～29 歳	67	12.3%	14,121	16.9%
30～39 歳	79	14.5%	13,339	16.0%
40～49 歳	84	15.4%	15,755	18.9%
50～59 歳	114	21.0%	18,212	21.8%
60～69 歳	103	18.9%	11,240	13.5%
70～79 歳	89	16.4%	10,881	13.0%
無回答	8	1.5%	-	-
合計	544	100%	83,548	100%

住民基本台帳人口と比べ、50 歳未満の回答者は少なく、60 歳以上の回答者は、多くなっています。



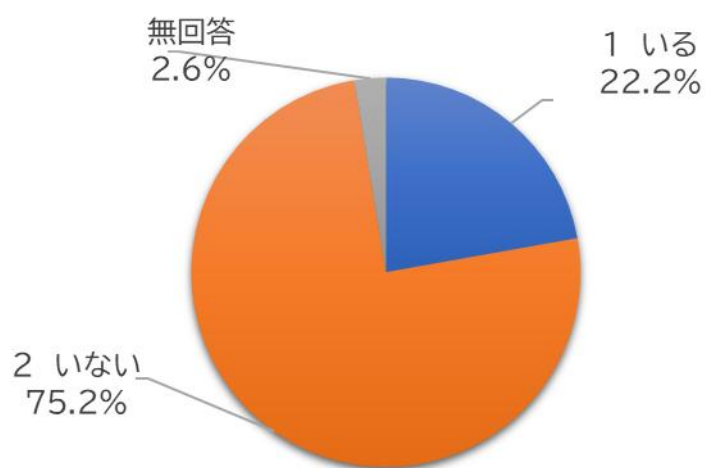
【地域】

選択肢	件数	割合
1 緑地域(みどり小学校区、新森小路小学校区)	20	3.7%
2 鶴見北地域(鶴見小学校区)	40	7.4%
3 鶴見地域(鶴見南小学校区)	51	9.4%
4 榎本地域(榎本小学校区)	83	15.3%
5 今津地域(今津小学校区)	69	12.7%
6 茨田南地域(茨田南小学校区)	40	7.4%
7 茨田地域(茨田小学校区)	22	4.0%
8 茨田東地域(茨田東小学校区)	19	3.5%
9 茨田北地域(茨田北小学校区)	46	8.5%
10 焼野地域(焼野小学校区)	26	4.8%
11 茨田西地域(茨田西小学校区)	43	7.9%
12 横堤地域(横堤小学校区)	56	10.3%
13 分からない	19	3.5%
無回答	10	1.8%
合計	544	100%



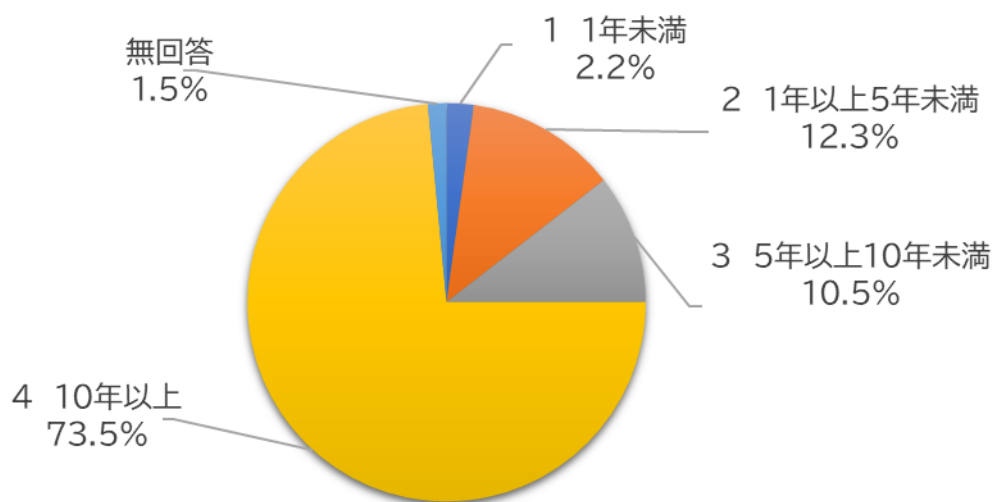
【世帯に、現在中学生以下の子どもがいるかどうか】

1 いる	121	22.2%
2 いない	409	75.2%
無回答	14	2.6%
合計	544	100%



【居住年数】

1 1年未満	12	2.2%
2 1年以上5年未満	67	12.3%
3 5年以上10年未満	57	10.5%
4 10年以上	400	73.5%
無回答	8	1.5%
合計	544	100%



(4) 調査結果の見方

- ・ 回答結果の割合「%」は、小数点以下第2位を四捨五入したものです。このため、単数回答(複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式)であっても合計値が100.0%にならない場合があります。
- ・ 複数回答(複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ形式)の場合、回答は選択肢の有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。
- ・ 図表中の「無回答」とは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。
- ・ 割合に関する記述で「割」は10%を指します(例:3割=30%)

(5) 標本誤差について

本調査は、標本(回答者)から得られた結果に基づき、母集団(鶴見区民全体)の比率等を推定する標本調査として実施していますが、「(6)標本の代表性」に後述するとおり、標本は母集団の代表性を有するという仮説は棄却されています(標本に偏りがある)。このため、回収率は54.7%と一定程度確保されていますが、以下で示す標本誤差以外に非標本誤差が発生している可能性があり、本調査の結果を母比率の推定値として用いる場合にはこの点に留意する必要があります。

理論的に求められる信頼度95%で推定した場合の信頼区間1/2幅(標本誤差)は、次の式で算出されます。

$$\text{標本誤差} = 1.96 \times \sqrt{\frac{P \times (1-P)}{n}}$$

■性別・年代別 回答比率ごとの標本誤差

(単位:%)

	回答比率(P) 回答者数(n)	5%	10%	15%	20%	25%	30%	35%	40%	45%	50%
		95%	90%	85%	80%	75%	70%	65%	60%	55%	50%
全体	544	1.8	2.5	3.0	3.4	3.6	3.9	4.0	4.1	4.2	4.2
男性	209	3.0	4.1	4.8	5.4	5.9	6.2	6.5	6.6	6.7	6.8
女性	323	2.4	3.3	3.9	4.4	4.7	5.0	5.2	5.3	5.4	5.5
18～29歳	67	5.2	7.2	8.6	9.6	10.4	11.0	11.4	11.7	11.9	12.0
30～39歳	79	4.8	6.6	7.9	8.8	9.5	10.1	10.5	10.8	11.0	11.0
40～49歳	84	4.7	6.4	7.6	8.6	9.3	9.8	10.2	10.5	10.6	10.7
50～59歳	114	4.0	5.5	6.6	7.3	7.9	8.4	8.8	9.0	9.1	9.2
60～69歳	103	4.2	5.8	6.9	7.7	8.4	8.9	9.2	9.5	9.6	9.7
70～79歳	89	4.5	6.2	7.4	8.3	9.0	9.5	9.9	10.2	10.3	10.4

※性別の「その他」は回答者数が少なく(n<30)、統計的に信頼できる誤差の範囲を示すことが困難なため、当該項目の標本誤差は掲載しておりません。

例えば、問 1「あなたは、鶴見区役所が実施する広報(『広報つるみ』、区ホームページ、SNS、区広報板など)で、必要とする区政情報が必要なときに入手できていますか。」では、肯定的な回答(「できている」+「ほぼできている」)は全体で 71.1%でした。この割合に対応する標本誤差は、標本誤差表の最も近い区分(70%)における「全体」の値である $\pm 3.9\%$ を用いると $71.1\% \pm 3.9\%$ となります。したがって、同様の調査を繰り返した場合、母集団(鶴見区民全体)における肯定的回答の割合は、95%信頼水準で 67.2%～75.0%の範囲にあると推定されます。

(6) 標本の代表性

母比率の推定などの統計的推定を行う前提として、少なくとも主要な属性について、回答者の構成が母集団の構成と著しく乖離していない(代表性がある)ことが望ましく、この点を確認するため、母集団分布に対する回答者分布の一致を検証するカイ二乗適合度検定を行います。

検定する仮説は次のとおりです。

(帰無仮説)回答者の性別や年齢区分の分布は、母集団の分布と同じである(差がない)

(対立仮説)回答者の性別や年齢区分の分布は、母集団の分布と異なる(差がある)

有意水準は 5%($\alpha = 0.05$)に設定し、検定で得られた P 値が有意水準を下回るか($P < 0.05$)、すなわち、検定統計量(カイ二乗値 χ^2)が、所定の自由度におけるカイ二乗分布の上側 5%点(臨界値)を上回り棄却域に入るかにより判断します。

(有意水準は、帰無仮説が正しいにもかかわらず誤って棄却してしまう確率[第 I 種の誤り]をどの程度まで許容するかを、事前に定める基準です。有意水準を 5%に設定するとは、第 I 種の誤りを最大 5%まで許容することを意味します。また、P 値は「帰無仮説が正しいと仮定したときに、観測された結果と同程度またはそれ以上に極端な結果が得られる確率」です。本検定では、「回答者の性別や年齢区分の分布は、母集団の分布と同じである(差がない)」と仮定した場合に、今回観測された差と同程度またはそれ以上の差が偶然に生じる確率を表します。)

■母集団の大きさ(令和6年9月末日現在の住民基本台帳人口)

(単位:人)

	18～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70～79 歳	合計
男性	6,908	6,469	7,752	8,875	5,492	4,752	40,248
女性	7,213	6,870	8,003	9,337	5,748	6,129	43,300
合計	14,121	13,339	15,755	18,212	11,240	10,881	83,548

■適合度検定における分析対象者数

(単位:人)	18～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70～79 歳	合計
男性	27	30	24	44	44	39	208
女性	36	48	60	68	59	50	321
合計	63	78	84	112	103	89	529

※性別及び年代の適合度検定において、性別(男性または女性)及び年齢の両方に回答が得られた方を分析対象者としています。(性別が「その他」または無回答の方及び年齢が無回答の方については、当該分析対象者からは除外しましたが、その他の集計においては有効回答者として取り扱っています)

■期待値

(単位:人)	18～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70～79 歳	合計
男性	44	41	49	56	35	30	255
女性	46	43	51	59	36	39	274
合計	90	84	100	115	71	69	529

■適合度検定によるP値の算出

	検定統計量 (カイ二乗値 χ^2)	上側確率 5%点	自由度	P 値
性別	16.61	3.84	1	$4.6 \times 10^{-3}\%$
年齢区分	30.98	11.07	5	$9.4 \times 10^{-4}\%$

性別の適合度検定では、P値は $4.6 \times 10^{-3}\%$ であり、有意水準(5%)を下回ります。

また、年齢区分間の適合度検定では、P値は $9.4 \times 10^{-4}\%$ であり、有意水準(5%)を下回ります。

以上より、回答者の性別や年齢区分の分布は、母集団の分布と異なる(差がある)と判断されます。

■集計・分析上の留意事項

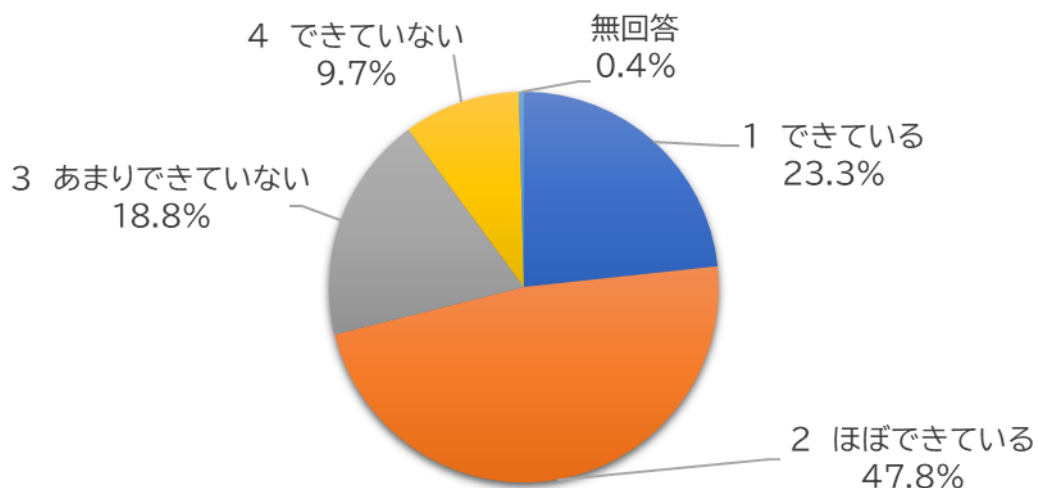
本文中の傾向に関する記載(コメント)は、回答数が確保できる集計を中心に、『全体』および『年齢別』の傾向を記載しています。昨年度まで記載していた居住年数別・地域別等は階層によって回答数が少なく標準誤差が大きくなりやすいため、本年度より本文中の記載を控え、数値は参考資料(クロス集計表)に掲載しています(各区分の件数は表中で確認できます)。

また、回答者を特定の条件で限定した集計(例:設問 14 のように『2 参加したことがない』と回答した人のみへ設問する)では対象数が小さくなるため、本文の傾向コメントは全体のみとし、年齢別を含む詳細は参考資料(クロス集計表)に掲載しています。

1. 情報の入手について

問1 あなたは、鶴見区役所が実施する広報(『広報つるみ』、区ホームページ、SNS、区広報板などで、必要とする区政情報が必要なときに入手できていますか。(1つ選んでください)

選択肢	件数	割合
1 できている	127	23.3%
2 ほぼできている	260	47.8%
3 あまりできていない	102	18.8%
4 できていない	53	9.7%
無回答	2	0.4%
合計	544	100%

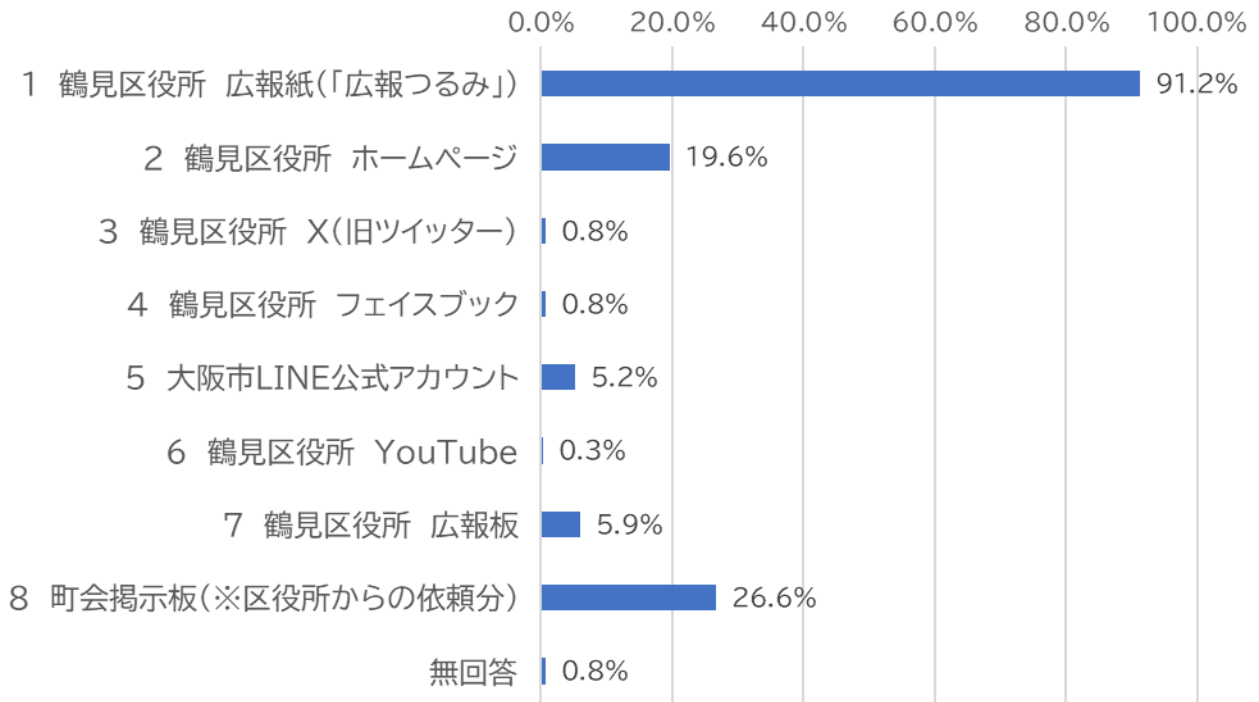


【全体的傾向】 「ほぼできている」(47.8%)「できている」(23.3%)を合わせると 71.1%の方が、鶴見区役所が実施する広報(『広報つるみ』、区ホームページ、SNS、区広報板など)で必要とする区政情報が必要なときに入手できていると感じている。

【年齢別傾向】 「ほぼできている」又は「できている」と回答した割合を年齢別にみると、「40～49 歳代」「50～59 歳」及び「70～79 歳」が最も多く、同率で 79.8%となっている。

問2 (問1で「1 できている」又は「2 ほぼできている」と回答された方へ)どのような媒体を通じて、よく入手していますか(いくつでも選んでください)

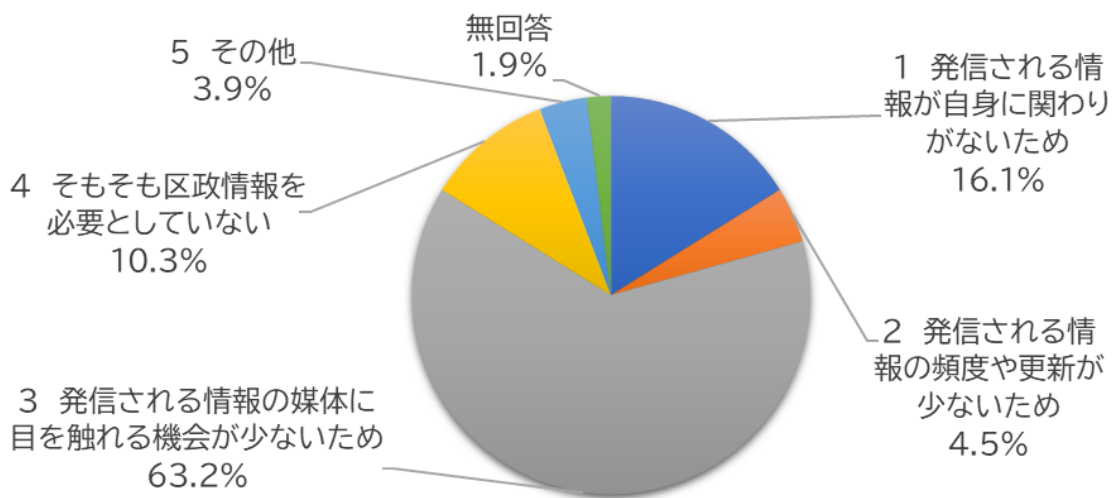
選択肢	件数	割合
1 鶴見区役所 広報紙(「広報つるみ」)	353	91.2%
2 鶴見区役所 ホームページ	76	19.6%
3 鶴見区役所 X(旧ツイッター)	3	0.8%
4 鶴見区役所 フェイスブック	3	0.8%
5 大阪市 LINE 公式アカウント	20	5.2%
6 鶴見区役所 YouTube	1	0.3%
7 鶴見区役所 広報板	23	5.9%
8 町会掲示板(※区役所からの依頼分)	103	26.6%
無回答	3	0.8%
回答者数	387	-



【全体的傾向】 「鶴見区役所 広報紙(「広報つるみ」)」(91.2%)と回答した割合が最も多く、次いで、「町会掲示板(※区役所からの依頼分)」(26.6%)である。一方、「鶴見区役所 YouTube」(0.3%)と回答した割合が最も少ない。

問3 (問1で「3 あまりできていない」又は「4 できていない」と回答された方へ)その理由は何ですか(1つ選んでください)

選択肢	件数	割合
1 発信される情報が自身に関わりがないため	25	16.1%
2 発信される情報の頻度や更新が少ないため	7	4.5%
3 発信される情報の媒体に目を触れる機会が少ないため	98	63.2%
4 そもそも区政情報を必要としていない	16	10.3%
5 その他	6	3.9%
無回答	3	1.9%
合計	155	100%



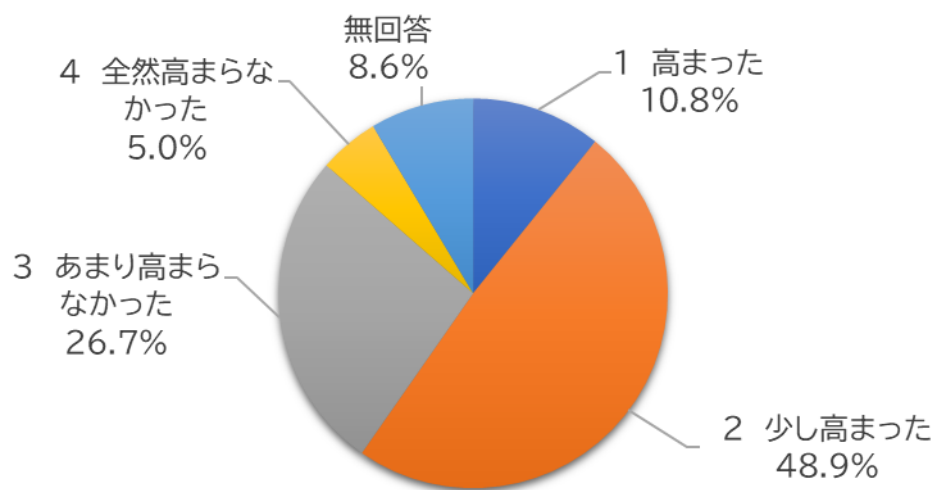
【全体的傾向】 「発信される情報の媒体に目を触れる機会が少ないため」と回答した割合が最も多く、63.2%となっている。

「その他」と回答された方のご意見(抜粋)

- ・「広報つるみ」を知らないから
- ・知的障がいがあり、字が読めないから
- ・外国人なので、よくわからないから
- ・「広報つるみ」を手に入れる方法がわからないから

問4 あなたは、鶴見区役所が発信する『広報つるみ』や区ホームページ、SNS、区広報板を見て、区政(事業等の内容、イベントやお知らせ)について関心が高まりましたか。(1つ選んでください)

選択肢	件数	割合
1 高まった	59	10.8%
2 少し高まった	266	48.9%
3 あまり高まらなかった	145	26.7%
4 全然高まらなかった	27	5.0%
無回答	47	8.6%
合計	544	100%



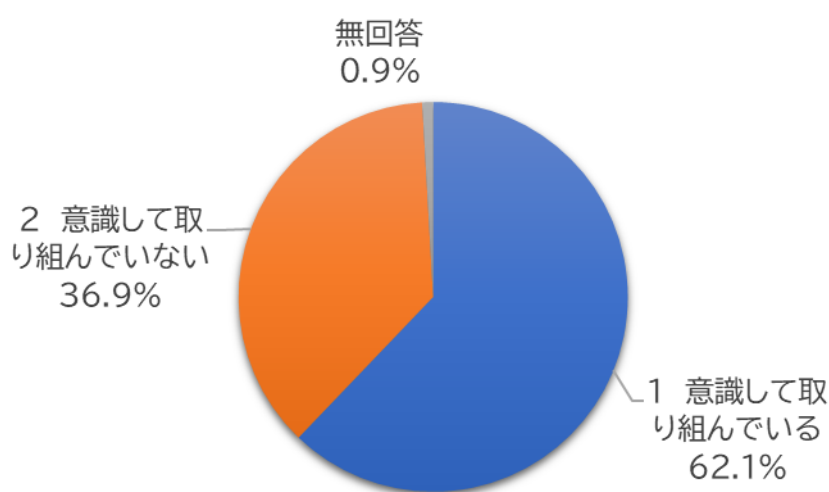
【全体的傾向】 「高まった」(10.8%)「少し高まった」(48.9%)を合わせると 59.7%の方が鶴見区役所が発信する『広報つるみ』や区ホームページ、SNS、区広報板を見て、区政(事業等の内容、イベントやお知らせ)について関心が高まった。

【年齢別傾向】 「高まった」又は「少し高まった」と回答した割合を年齢別にみると、「40～49歳」が最も多く、66.7%となっている。

2. SDGs、花や緑あふれるまちづくり等について

問5 鶴見区役所では SDGs(※)の周知・広報に取り組んでいます。家庭でできる身近な SDGs もありますが、あなたは、日頃から意識して SDGsに取り組んでいますか。(1つ選んでください)

選択肢	件数	割合
1 意識して取り組んでいる	338	62.1%
2 意識して取り組んでいない	201	36.9%
無回答	5	0.9%
合計	544	100%

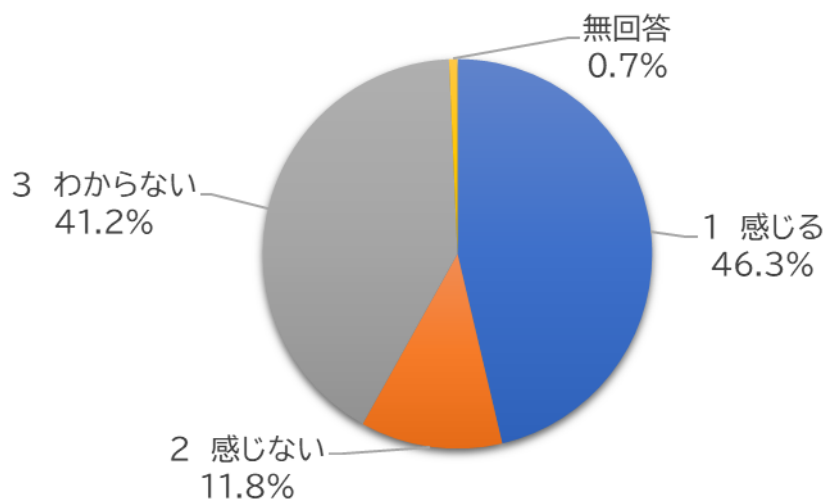


【全体的傾向】 「意識して取り組んでいる」と回答した割合が多く、62.1%となっている。

【年齢別傾向】 すべての年代で「意識して取り組んでいる」と回答した割合が多く、一番多いのは「70～79 歳」(69.7%)である。

問6 鶴見区では、町会などによる住民主体の手作りの活動(お祭りや子ども向けのイベント、防災・防犯、通学路の見守りなど)が実施されています。また、区内の各種団体が構成される実行委員会によって、区民まつりが毎年10月に実施されています。鶴見区は、昭和49年の行政区再編成によって城東区から分区し、令和6年に区制50周年を迎えました。そのため鶴見区役所では、「鶴見区制50周年記念事業実行委員会」と連携し、本年7月21日には区制50周年記念式典・音楽祭、10月27日には区制50周年記念イベントに取り組んでいました。これらの一連の取組みは、あなたにとって鶴見区への愛着を高めることにつながっていると感じますか。(1つ選んでください)

選択肢	件数	割合
1 感じる	252	46.3%
2 感じない	64	11.8%
3 わからない	224	41.2%
無回答	4	0.7%
合計	544	100%

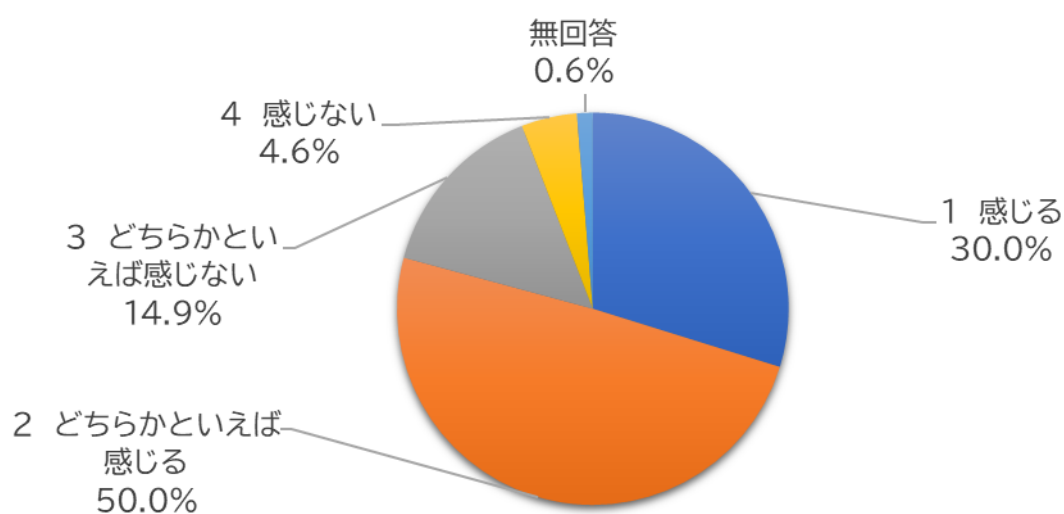


【全体的傾向】 「感じる」と回答した割合が最も多く、46.3%となっており、次いで「わからない」(41.2%)である。

【年齢別傾向】 「感じる」と回答した割合を年齢別にみると、「60～69 歳」が最も多く、54.4%となっている。

問7 あなたは、鶴見区が花や緑あふれるまちと感じますか。(1つ選んでください)

選択肢	件数	割合
1 感じる	163	30.0%
2 どちらかといえば感じる	272	50.0%
3 どちらかといえば感じない	81	14.9%
4 感じない	25	4.6%
無回答	3	0.6%
合計	544	100%



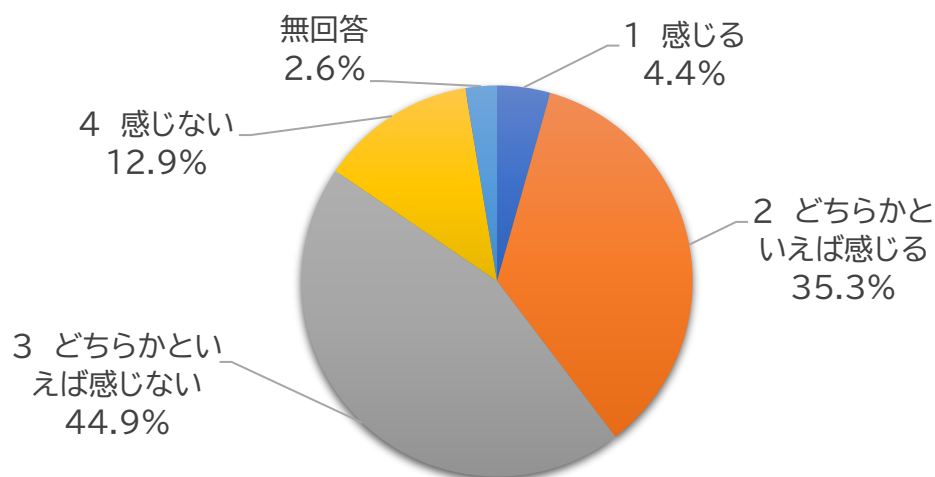
【全体的傾向】 「感じる」(30.0%)「どちらかといえば感じる」(50.0%)を合わせると80.0%の方が「鶴見区が花や緑あふれるまち」と感じている。

【年齢別傾向】 「感じる」又は「どちらかといえば感じる」と回答した割合を年齢別にみると、「30～39 歳」が最も多く、合わせて 91.1%となっている。

3. まなびを通じたつながりづくりについて

問8 鶴見区役所では、「人権啓発推進セミナー」「ヒューマンシアター」「校下別人権学習会」「人権啓発イベント」「人材育成講座」「街頭啓発」などの人権教育・啓発の取組みを行っています。あなたは、鶴見区役所で実施している取組みを通して、「一人ひとりが互いに認め合い、受け容れ、ともに生きる」人権尊重のまちづくりが進んでいると感じますか。(1つ選んでください)

選択肢	件数	割合
1 感じる	24	4.4%
2 どちらかといえば感じる	192	35.3%
3 どちらかといえば感じない	244	44.9%
4 感じない	70	12.9%
無回答	14	2.6%
合計	544	100%

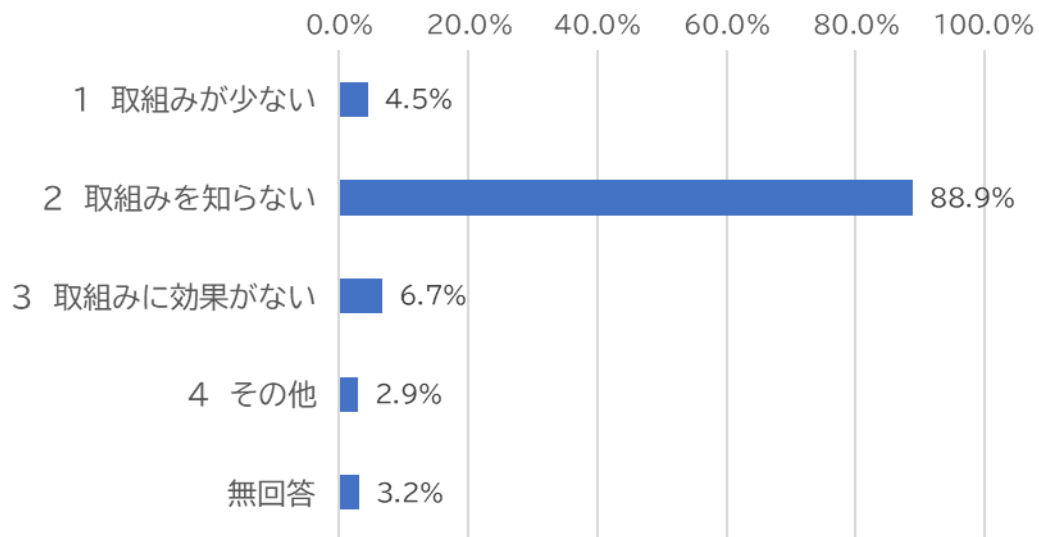


【全体的傾向】 「どちらかといえば感じない」(44.9%)「感じない」(12.9%)を合わせると57.8%の方が「鶴見区役所で実施している取組みを通して、「一人ひとりが互いに認め合い、受け容れ、ともに生きる」人権尊重のまちづくりが進んでいる」と感じない。

【年齢別傾向】 「どちらかといえば感じない」又は「感じない」と回答した割合を年齢別にみると、「18～29 歳」が最も多く、合わせて 62.7%となっている。

問 9 (問8で「3 どちらかといえば感じない」「4 感じない」と回答された方へ)人権尊重のまちづくりが進んでいると感じない理由は何ですか。(いくつでも選んでください)

選択肢	件数	割合
1 取組みが少ない	14	4.5%
2 取組みを知らない	279	88.9%
3 取組みに効果がない	21	6.7%
4 その他	9	2.9%
無回答	10	3.2%
回答者数	314	-



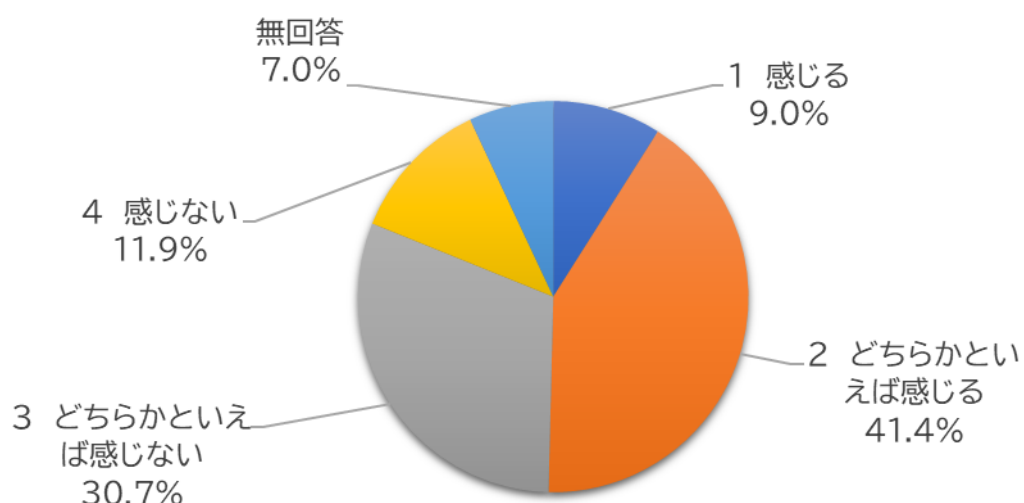
【全体的傾向】 「取組みを知らない」と回答した割合が最も多く、88.9%となっている

「その他」と回答された方のご意見(抜粋)

- ・人権尊重のまちづくりが既に浸透している
- ・参加したことがない
- ・意識したことがない

問 10 鶴見区役所では、「生涯学習ルーム」「生涯学習ルームフェスティバル」「生涯学習セミナー」「おもてなし茶会」「生涯学習一日体験 学び舎つるみ」「家庭教育支援講座」「はぐくみネット」などの生涯学習の取組みを行っています。あなたは、生涯学習の取組みや地域ボランティア活動などによるまなびを通して、人との関わりやつながりができると感じますか。(1つ選んでください)

選択肢	件数	割合
1 感じる	49	9.0%
2 どちらかといえば感じる	225	41.4%
3 どちらかといえば感じない	167	30.7%
4 感じない	65	11.9%
無回答	38	7.0%
合計	544	100%

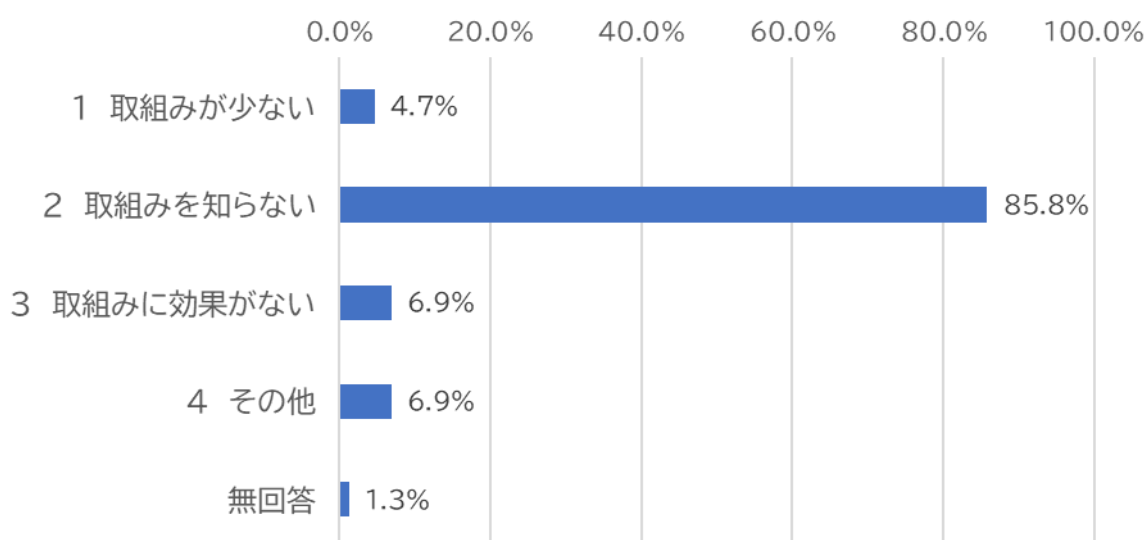


【全体的傾向】 「感じる」(9.0%)又は「どちらかといえば感じる」(41.4%)を合わせると50.4%の方が「生涯学習の取組みや地域ボランティア活動などによるまなびを通して、人との関わりやつながりができると感じている」。

【年齢別傾向】 「感じる」又は「どちらかといえば感じる」と回答した割合を年齢別にみると、「18～29 歳」が最も多く、合わせて 53.7%となっている。

問 11 (問 10 で「3 どちらかといえば感じない」「4 感じない」と回答された方)まなびを通して人との関わりやつながりができると感じない理由は何ですか。(いくつでも選んでください)

選択肢	件数	割合
1 取組みが少ない	11	4.7%
2 取組みを知らない	199	85.8%
3 取組みに効果がない	16	6.9%
4 その他	16	6.9%
無回答	3	1.3%
回答者数	232	-

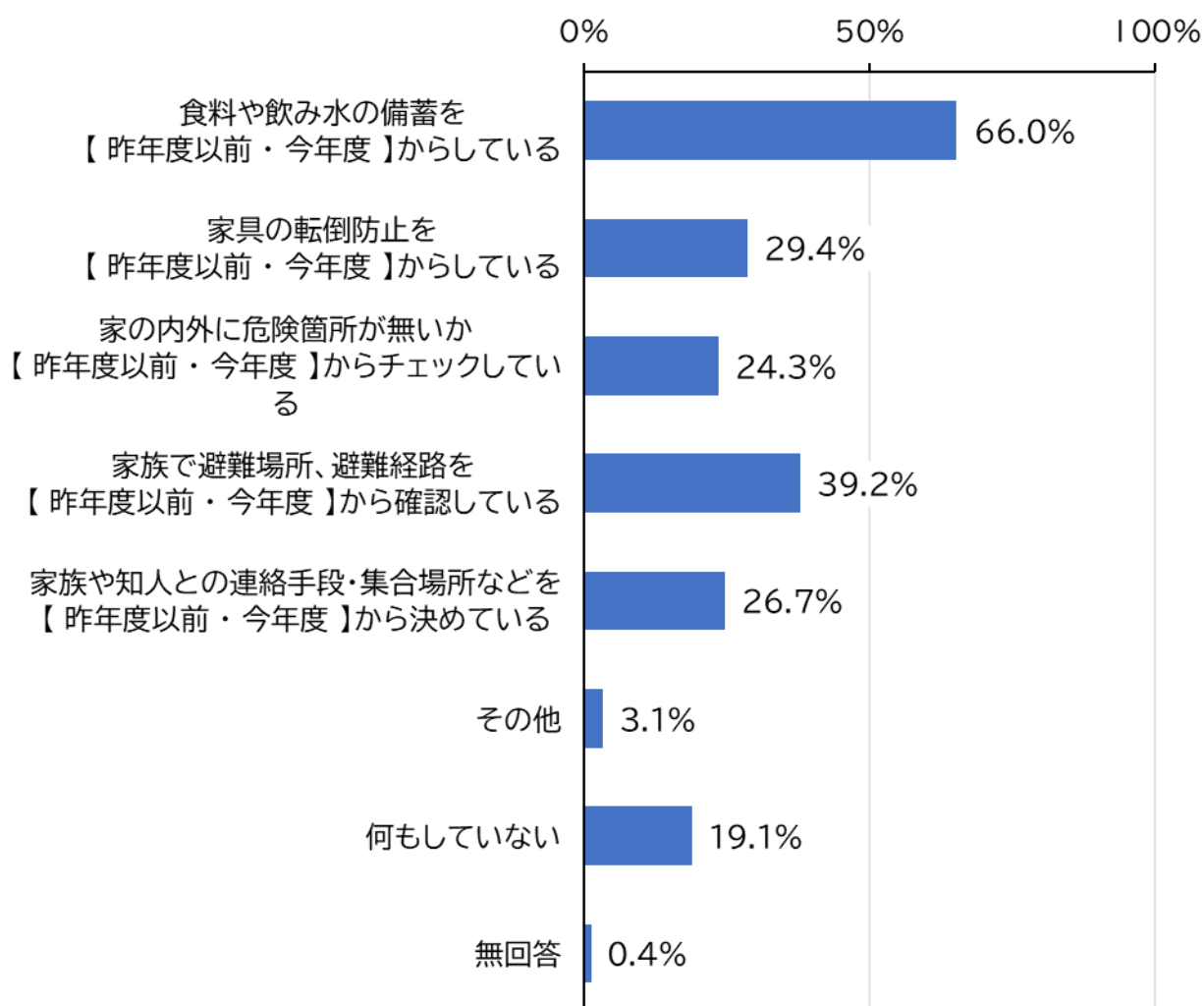


【全体的傾向】 「取組みを知らない」と回答した割合が最も多く、85.8%となっている

4. 地震・風水害等の災害について

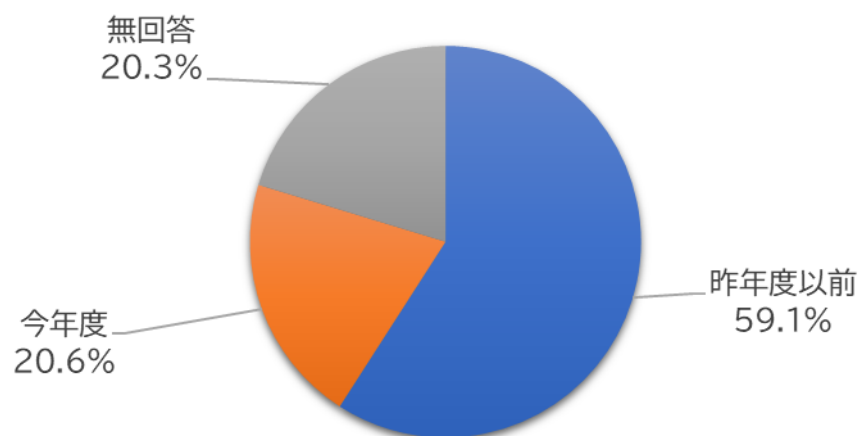
問 12 あなたは、備蓄などいざという時に備えていますか。(いくつでも選んでください。また【開始時期】も✓してください)

選択肢	件数	割合
1 食料や飲み水の備蓄を【昨年度以前・今年度】からしている	359	66.0%
2 家具の転倒防止を【昨年度以前・今年度】からしている	160	29.4%
3 家の内外に危険箇所が無い【昨年度以前・今年度】からチェックしている	132	24.3%
4 家族で避難場所、避難経路を【昨年度以前・今年度】から確認している	213	39.2%
5 家族や知人との連絡手段・集合場所などを【昨年度以前・今年度】から決めている	145	26.7%
6 その他	17	3.1%
7 何もしていない	104	19.1%
無回答	2	0.4%
回答者数	544	-



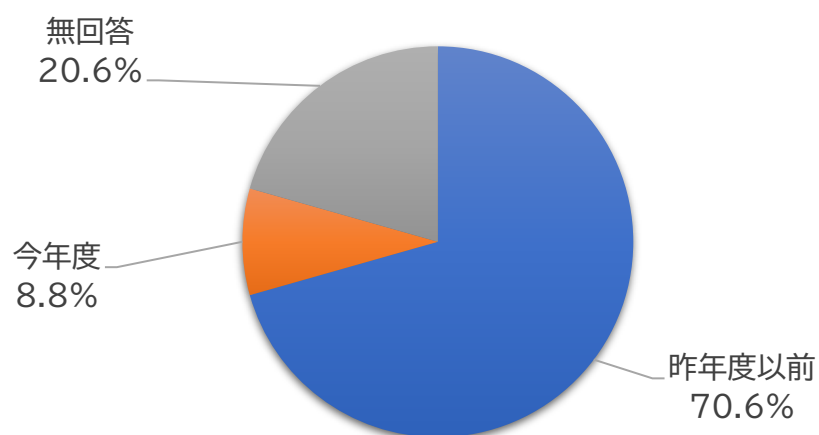
選択① 食料や飲み水の備蓄を【昨年度以前・今年度】からしている

選択肢	件数	割合
昨年度以前	212	59.1%
今年度	74	20.6%
無回答	73	20.3%
合計	359	100%



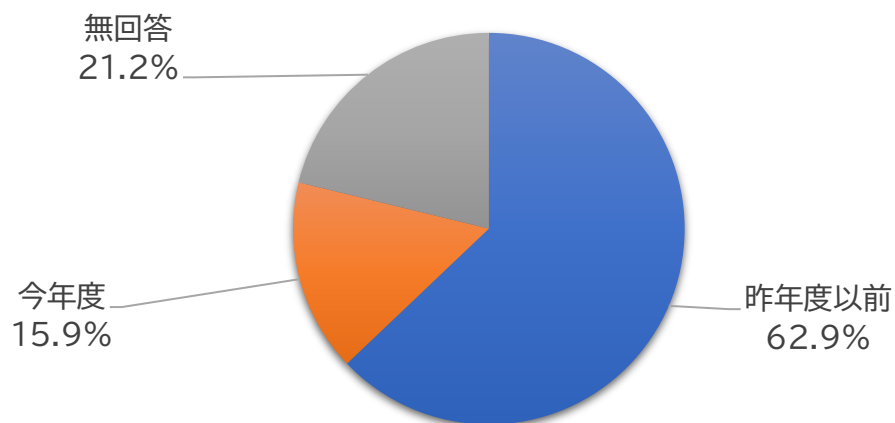
選択② 家具の転倒防止を【昨年度以前・今年度】からしている

選択肢	件数	割合
昨年度以前	113	70.6%
今年度	14	8.8%
無回答	33	20.6%
合計	160	100%



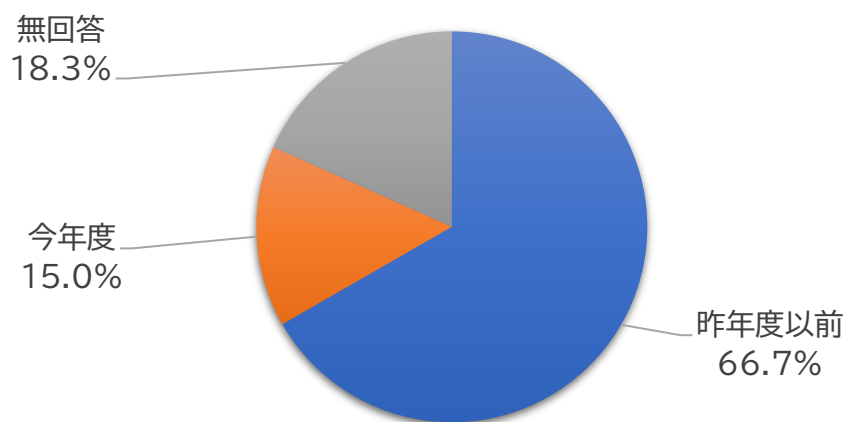
選択③ 家の内外に危険箇所が無い【昨年度以前・今年度】からチェックしている

選択肢	件数	割合
昨年度以前	83	62.9%
今年度	21	15.9%
無回答	28	21.2%
合計	132	100%



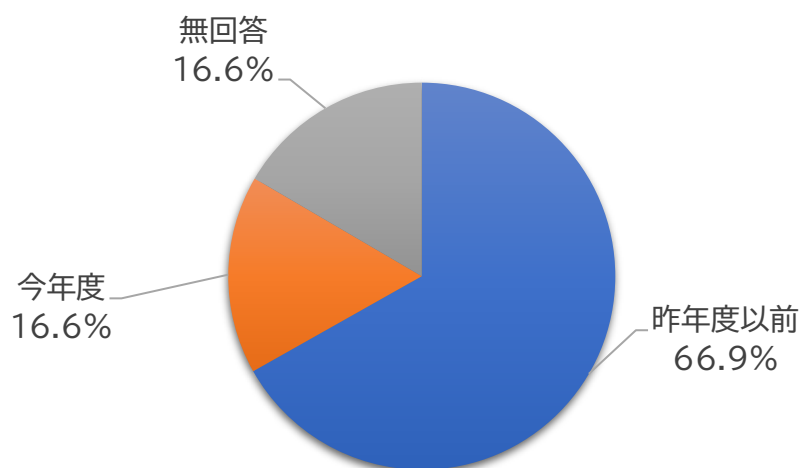
選択④ 家族で避難場所、避難経路を【昨年度以前・今年度】から確認している

選択肢	件数	割合
昨年度以前	142	66.7%
今年度	32	15.0%
無回答	39	18.3%
合計	213	100%



選択⑤ 家族や知人との連絡手段・集合場所などを【昨年度以前・今年度】から決めている

選択肢	件数	割合
昨年度以前	97	66.9%
今年度	24	16.6%
無回答	24	16.6%
合計	145	100%



【全体的傾向】 「食料や飲み水の備蓄を【昨年度以前・今年度】からしている」と回答した割合が多く、66.0%となっている。
すべての選択肢で「昨年度以前」と選んだ割合が多い。

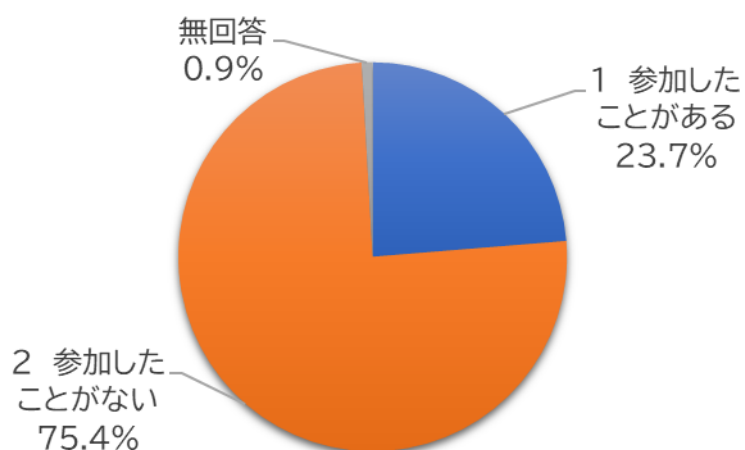
【年齢別傾向】 「食料や飲み水の備蓄を【昨年度以前・今年度】からしている」と回答した割合を年齢別から見ると、「40～49 歳」が最も多く、75.0%となっている。

「その他」と回答された方のご意見(抜粋)

- ・避難用具等を揃える
- ・防災時の工夫(応急的な排泄物の処理の方法など)に関するビデオをよく見る
- ・断水によるトイレ等の水を確保している
- ・家族が備蓄などいざという時に備えている
- ・ガスコンロボンベ、水、保存食品、ヘルメットと蠟燭などを備える
- ・貴重品をまとめている

問 13 鶴見区では、小学校区単位で地域のさまざまな課題解決のため「地域活動協議会」が活動しており、地域防災力向上のため、学校や公園などで防災訓練を実施しています。あなたは、これまで鶴見区内で開催された防災訓練に参加したことがありますか。(1つ選んでください)

選択肢	件数	割合
1 参加したことがある	129	23.7%
2 参加したことがない	410	75.4%
無回答	5	0.9%
合計	544	100%

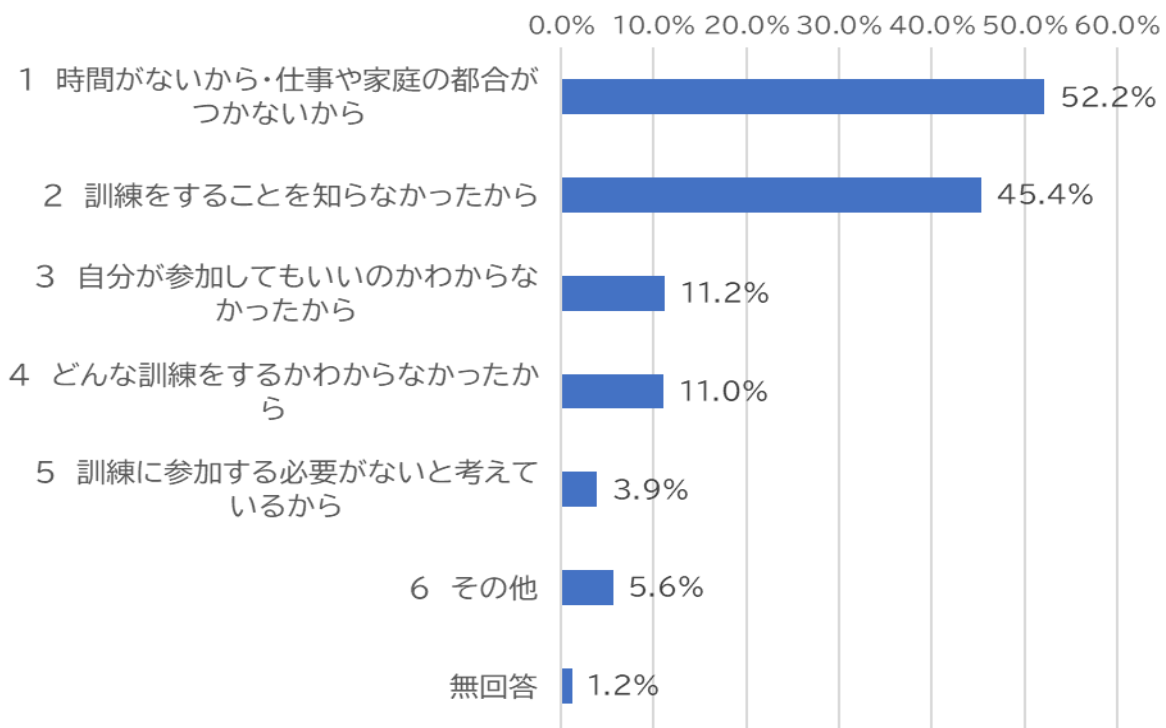


【全体的傾向】 7割以上の方がこれまで鶴見区内で開催された防災訓練に参加したことがない。

【年齢別傾向】 「参加したことがない」と回答した割合を年齢別から見ると、「30～39 歳」が多く、86.1%となっている。

問 14 (問 13 で「2 参加したことがない」と回答された方へ)その理由は何ですか？(いくつでも選んでください)

選択肢	件数	割合
1 時間がないから・仕事や家庭の都合がつかないから	214	52.2%
2 訓練をすることを知らなかったから	186	45.4%
3 自分が参加してもいいのかわからなかったから	46	11.2%
4 どんな訓練をするかわからなかったから	45	11.0%
5 訓練に参加する必要があると考えているから	16	3.9%
6 その他	23	5.6%
無回答	5	1.2%
回答者数	410	-



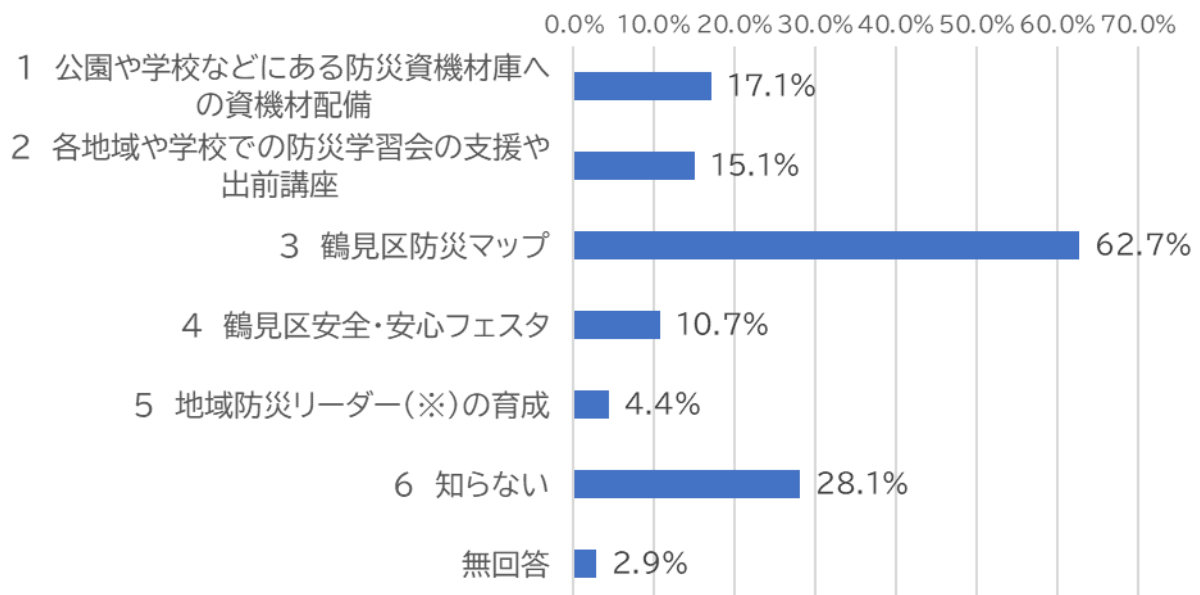
【全体的傾向】 「時間がないから・仕事や家庭の都合がつかないから」(52.2%)と回答した割合が最も多く、次いで「訓練をすることを知らなかったから」(45.4%)である。

「その他」と回答された方のご意見(抜粋)

- ・ほか(会社、マンション等)の防災訓練に参加しているため、十分だと思うから
- ・家族が参加していたから
- ・体の調子が悪いから
- ・防災訓練の情報を知らなかったから

問 15 鶴見区役所では、地域で実施されている防災訓練のほか、さまざまな防災事業を行っています。あなたが知っている防災事業を選んでください。(いくつでも選んでください)

選択肢	件数	割合
1 公園や学校などにある防災資機材庫への資機材配備	93	17.1%
2 各地域や学校での防災学習会の支援や出前講座	82	15.1%
3 鶴見区防災マップ	341	62.7%
4 鶴見区安全・安心フェスタ	58	10.7%
5 地域防災リーダー(※)の育成	24	4.4%
6 知らない	153	28.1%
無回答	16	2.9%
回答者数	544	-

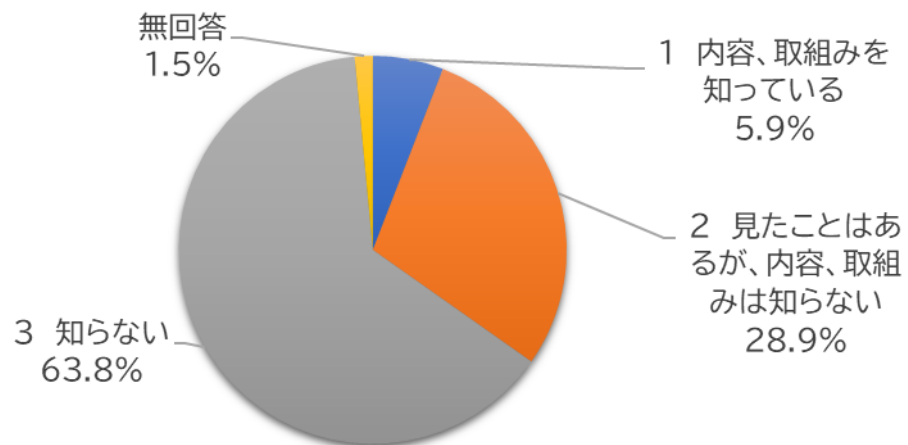


【全体的傾向】 「鶴見区防災マップ」と回答した割合が最も多く、62.7%となっている。

【年齢別傾向】 「鶴見区防災マップ」と回答した割合を年齢別から見ると、「40～49 歳」が最も多く、70.2%となっている。

問 16 鶴見区役所では、地震や風水害など危機事象ごとの計画をまとめた「鶴見区防災計画」(鶴見区ホームページに掲載)について作成しています。あなたは、「鶴見区防災計画」などの取り組みを知っていますか。(1つ選んでください)

選択肢	件数	割合
1 内容、取り組みを知っている	32	5.9%
2 見たことはあるが、内容、取り組みは知らない	157	28.9%
3 知らない	347	63.8%
無回答	8	1.5%
合計	544	100%

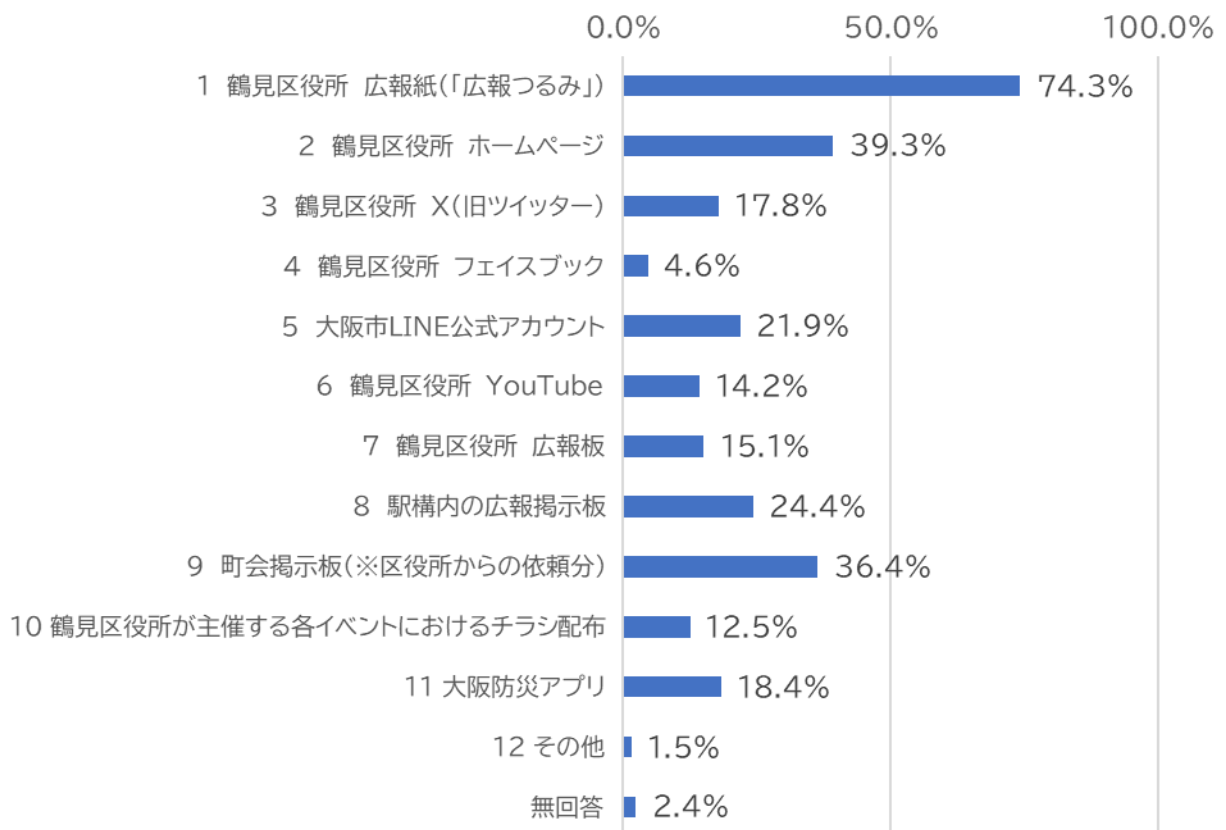


【全体的傾向】 「知らない」と回答した割合が最も多く、63.8%となっている。

【年齢別傾向】 「知らない」と回答した割合を年齢別にみると、「18～29 歳」が最も多く、73.1%となっている。

問 17 鶴見区役所では、大阪防災アプリの活用推奨をはじめ、さまざまな媒体を用いて防災に関する情報発信を行っています。あなたが防災に関する発信方法で有効だと思う媒体を選んでください。(いくつでも選んでください)

選択肢	件数	割合
1 鶴見区役所 広報紙(「広報つるみ」)	404	74.3%
2 鶴見区役所 ホームページ	214	39.3%
3 鶴見区役所 X(旧ツイッター)	97	17.8%
4 鶴見区役所 フェイスブック	25	4.6%
5 大阪市 LINE 公式アカウント	119	21.9%
6 鶴見区役所 YouTube	77	14.2%
7 鶴見区役所 広報板	82	15.1%
8 駅構内の広報掲示板	133	24.4%
9 町会掲示板(※区役所からの依頼分)	198	36.4%
10 鶴見区役所が主催する各イベントにおけるチラシ配布	68	12.5%
11 大阪防災アプリ	100	18.4%
12 その他	8	1.5%
無回答	13	2.4%
回答者数	544	-



【全体的傾向】 7割以上の方が防災に関する発信方法で広報紙(「広報つるみ」という媒体が有効だと感じている。

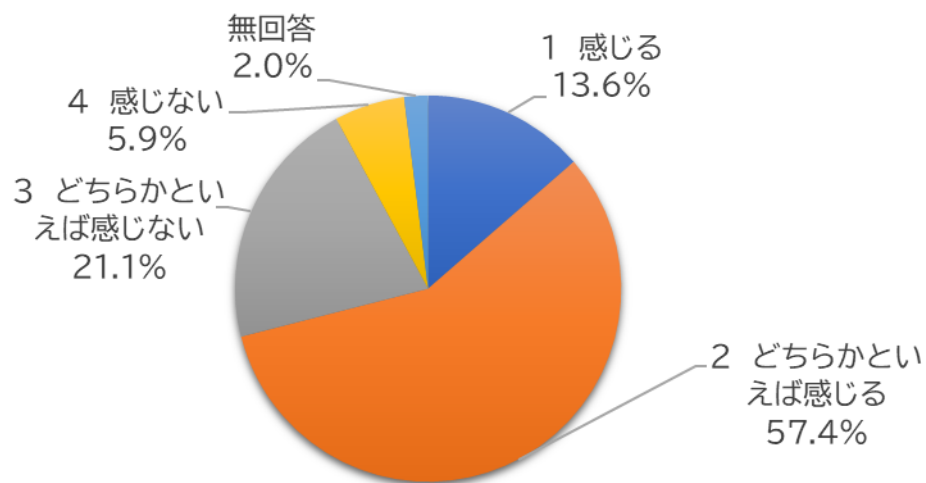
【年齢別傾向】 「鶴見区役所 広報紙(「広報つるみ」)」と回答した割合を年齢別にみると、「70～79 歳」が最も多く、86.5%となっている。

「その他」と回答された方のご意見(抜粋)

- ・緊急地震速報
- ・防災用スピーカー又は車による広域な放送、町内のアナウンス
- ・大型ショッピングセンターやスーパー、病院等での広報
- ・各戸へのポスティング
- ・Instagram

問 18 あなたは、鶴見区役所で実施している取組み(区民の防災意識の向上や地域防災力の強化に向けた支援など)が、今後の災害に対する備えにつながっていると感じますか。(1つ選んでください)

選択肢	件数	割合
1 感じる	74	13.6%
2 どちらかといえば感じる	312	57.4%
3 どちらかといえば感じない	115	21.1%
4 感じない	32	5.9%
無回答	11	2.0%
合計	544	100%



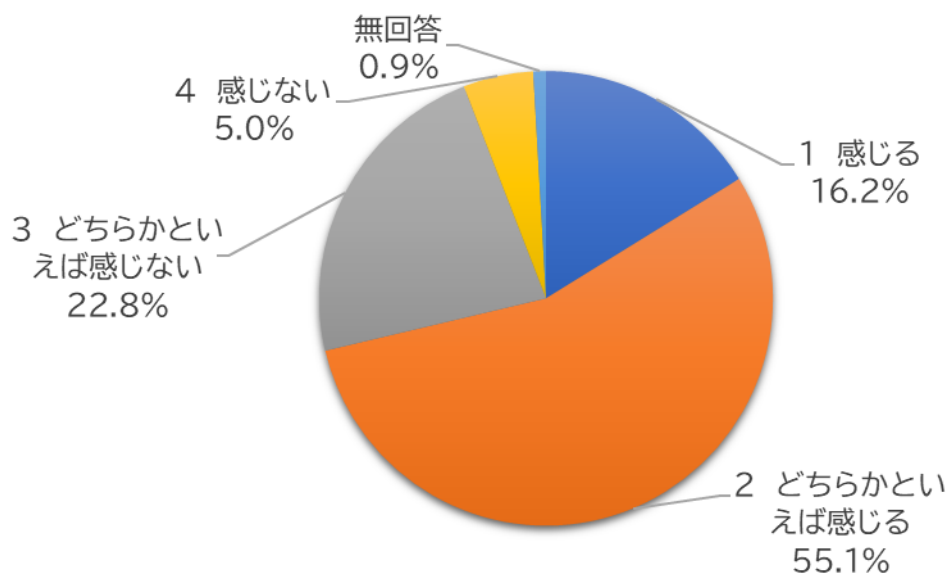
【全体的傾向】 「感じる」(13.6%)又は「どちらかといえば感じる」(57.4%)を合わせると71.0%の方が「鶴見区役所で実施している取組み(区民の防災意識の向上や地域防災力の強化に向けた支援など)が、今後の災害に対する備えにつながっている」と感じている。

【年齢別傾向】 「感じる」又は「どちらかといえば感じる」と回答した割合は、「40～49 歳」が最も多く、合わせて 78.6%となっている。

5. 安全で住みやすいまちづくりについて

問 19 鶴見区役所では、さまざまな防犯事業(※)に取り組んでいます。あなたは、鶴見区が実施している防犯事業が、区の犯罪抑止につながっていると感じますか。(1つ選んでください)

選択肢	件数	割合
1 感じる	88	16.2%
2 どちらかといえば感じる	300	55.1%
3 どちらかといえば感じない	124	22.8%
4 感じない	27	5.0%
無回答	5	0.9%
合計	544	100%

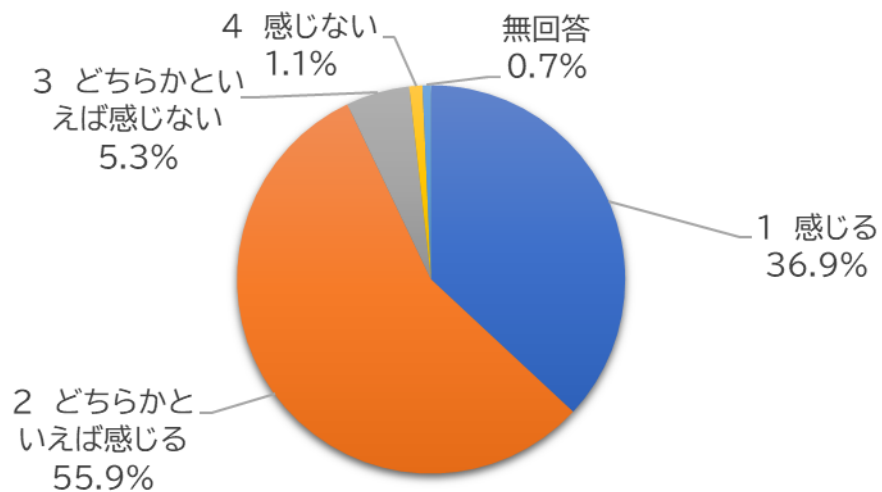


【全体的傾向】 「感じる」(16.2%)又は「どちらかといえば感じる」(55.1%)を合わせると71.3%の方が「鶴見区が実施している防犯事業が、区の犯罪抑止につながっている」と感じている。

【年齢別傾向】 「感じる」又は「どちらかといえば感じる」と回答した割合を年齢別にみると、「40～49 歳」が最も多く、合わせて 81.0%となっている。

問 20 あなたは、鶴見区は安全で住みやすいまちと感じますか。(1つ選んでください)

選択肢	件数	割合
1 感じる	201	36.9%
2 どちらかといえば感じる	304	55.9%
3 どちらかといえば感じない	29	5.3%
4 感じない	6	1.1%
無回答	4	0.7%
合計	544	100%



【全体的傾向】 「感じる」(36.9%)又は「どちらかといえば感じる」(55.9%)を合わせると92.8%の方が鶴見区は安全で住みやすいまちと感じている。

【年齢別傾向】 「感じる」又は「どちらかといえば感じる」と回答した割合を年齢別にみると、「40～49 歳」が最も多く、合わせて 97.6%となっている。

6. 鶴見区全般について

問 21 今後、だれもが安心して暮らせるまちづくりを進めるにあたり、取り組んだらよいと思うアイデア等がありましたら、ご記入ください。

【広報・広聴に関すること】

- 区役所の取組を知らないことが多いため、区役所からの情報発信と区民の情報収集力が必要。
- 住みやすく緑が多いまちを情報発信。
- 健康のための情報提供(地域医療機関の紹介、運動やストレッチの紹介、AED 設置マップ、救急安心センターの紹介等)。
- 広報紙を見ても高齢者、子育て世代、昼間在宅している人対象のものが多く、労働者が参加できないものが多いためざっと読んで終わる。
- 防災等大切な事は、外国人でも理解できるよう多国語で発信してほしい。今まで見た事がない。
- 何か禁止するポスターや SNS 記事には、禁止する理由を併記する。
- わかりやすい発信。
- 広報紙はマンガ形式にするとよく見られる。地域のクーポンやお店情報があると良い。
- 働いていて家にいない世帯にはチラシ等でアプローチするとよい。
- アナログとデジタルの適度な共存と融合。
- 情報発信のデジタル化推進(ポータルサイト(SNS)のようなあらゆる情報に対する入口・情報源を集約、紙媒体からもアクセスを促す)。
- フォロワー強化の取り組み(イベント案内やキャンペーン等の登録メリットで)。
- SNS での情報発信。
- Instagram の活用。
- ライブカメラを設置して YouTube で流す。
- 区民の意見をどこに伝えたらよいかわからない。区民の意見をもっと聞くべきだ。
- 区民アンケートのような独自の情報収集の取組み。
- 鶴見警察署・鶴見区役所・消防署などに地域住民が意見を言えるイベント。
- 小さな事でも気軽に相談できるコーナーを区役所に作ってほしい。

【コミュニティに関すること】

- 一部の町会役員に負担が集中しているため、役割の見直しや手伝える仕組みづくり。
- 町会などコミュニケーション作りの為の施策を補助。イベントによる区民の啓蒙。
- ボランティアだけでは限界がある。
- 他市出身者でもリーダーになれる様にすれば良い。
- 古い団地を取り壊し、新しいまちづくりを進めてほしい。
- 人間関係を大切に挨拶を心がける。
- 個人情報保護法の制定や犯罪の増加で警戒心が強くなり、親切心が大きなお世話と、日頃のコミュニケーションが難しくなっていると感じる。
- 盆踊りは良いが、だんじりは道路を占拠し交通の妨げになる。何かを実施することが常に良いわけではなく、住民が平穏に暮らすためには、何も行わないことも重要である。

- イベントを増やしてほしい。
- 笑顔の場をもう少し増やしては？お祭りなどはお店が少なく、行列になっている。
- 子どもやお年寄りと話し合える場が欲しい。
- 子育て世代と高齢者をつなぐイベントや居場所の提供。
- 子どもから高齢者までが交流できる場所づくり。
- 若い人達が積極的に参加出来るよう、家族ぐるみで参加出来る場を作る。地域に専門分野を置く。集会所、小学校、公民館等で定期的な勉強会、イベントなど。
- 若者と高齢者が共存する魅力的な町なので、広場・シャッター商店街を利用し、みんなで見守れるようなあたたかいイベントをすると楽しいと思う。
- 若い人でも楽しめるようなこと。
- 40代～50代向けに自主参加形式のイベントを考えてほしい。広報誌だけでなく、ランダム抽出で参加率を向上できるのでは。
- 鶴見区は子育て世帯が多いが、単身者も参加できるようなものを期待する。
- 鶴見区民はイオンモールを利用することが多いと思うので、イオンモールでイベントを行う、またはイオンモールとコラボで施策を進める。

【高齢者に関すること】

- 区の事業について、高齢者へ認知してもらう工夫が必要。
- 高齢者への声かけや話し相手サービスなどがあれば、孤独死なども少なくなる。
- 認知症で1人で生活されている方を調査し、どういった関わりができるか考えてほしい。
- 地域の敬老の日プレゼントは、高齢者が配布役を担う偽善であり廃止するべき。

【子育て・教育に関すること】

- 妊活、子育て支援。
- 子育て支援、ファミリー世帯が気軽に参加できるイベントの開催。
- 子育て支援を特定のエリアだけでなく、広範囲に充実させてほしい。
- 保育園を増やしてほしい。マイナンバーを活用して保育園の大量の複雑すぎる書類を簡素化・効率化してほしい。
- 子育ては終了しつつあるが、小児科、内科、耳鼻科、歯科、皮膚科など個人病院が集まったビルがあれば、病院通いも楽だったのと思う。
- ガラスによる子どもへの被害が心配なので対策を進めて欲しい。
- 近所同士で声をかけ合い、子どもたちが安全に遊べる場所をつくる(道路沿いの公園等を高めのフェンスや植物で囲い、有志で定期的に見守る)。
- 地域ごとの子育て中の母親の意見を参考に事業を検討してほしい。
- 小学・中学までに大切な行いをどんどん教える。
- まちづくりと教育は大きく連動するので、区民が理解し共通意識のもと各事業を推進できるよう、区としての教育的ミッションやランドデザインを作成するとよい。
- 提供する学びの幅を広げる(防災だけでなく、日常生活に必要なゴミ分別やリサイクルの仕組み、買い物の仕方、お金の仕組み、障がいのある方への対応等を楽しく学べるように)。

【公園・環境に関すること】

- 鶴見緑地を活用する。
- 鶴見緑地に野外フェスを誘致。
- 鶴見緑地で健康増進への取り組み、毎朝できるヨガやラジオ体操などを行う。
- 鶴見緑地にカフェが欲しい。
- 鶴見緑地の街灯が消えている箇所がたくさんあるので電球交換して下さい。
- 鶴見緑地にスケボーなどができる場所を作してほしい。冬もバーベキュー場をあけてほしい。充実した施設をもっと作してほしい。プロジェクションマッピングはもう少し内容を考えた方が良かった。
- スケートボードを練習出来る場所を作って欲しい。身近に練習できる場所が無く困っている。2区画程滑って良い場所を作るなどできる範囲で実現してほしいと願っている。
- 公園でのスケボー禁止。
- 公園のトイレの全面的改修。
- 日頃の青パトや公園の掃除に感謝している。ありがとう！
- 鶴見緑地等の公園を少額有料にして整備してほしい。草木が伸び放題で行く気がしない。住宅地等の街路樹も伸び放題になっている。
- 公園や緑が少ないため、増やしてほしい。街路樹を切った後は新しい樹を植えてほしい。
- 横断歩道付近に街路樹を設置すると歩行者が見えにくくなるため、設置しない。
- 夏の夜中に大声で喋る高校生への対策。
- 歩きタバコや自転車・バイク・車等に乗車中の喫煙の撲滅を今すぐ実施！1000円では抑止にならない。
- 道にゴミが多い。
- ゴミやポイ捨てが多い。
- タバコ・空缶のポイ捨てが減らず空家も増えている今、少しでも近所を掃除しながら見渡したり、夕方には玄関灯を点けるとか、1人でも出来る事を心がけたら良い。
- コミュニティ回収予定の空き缶を漁る人への対策。
- 公園内や路上で、路上喫煙や犬の散歩者によるフンの放置を見かけたら誰でも通報できる仕組みづくり。
- ペットのマナーももって欲しい。
- はなずきんちゃんやつるりっぷのキャラクターのお菓子や小物を売って鶴見区の財源にし、ベンチや街の美化ができればいい。
- 町内の美化運動功労者を増やす。
- 電池などの回収を区役所だけでなく、スーパーとかでもやってほしい。

【道路・交通に関すること】

- 歩道や自転車道路の整備。
- より安全な歩道を。
- 車椅子が通りやすいよう狭い歩道を改善してほしい。

- 歩道の看板、植木鉢、放置自転車が、視覚障がい者や車椅子の方の通行の妨げとなっているので、巡回で強制撤去を進めるべきでは。
- 自転車専用レーンの設置。
- 道路の左側の地面がガタガタすぎて、自転車走行が危ない。
- 放出地区では有料駐輪場の定期使用予約が困難なため有料駐輪場の拡充を望む。
- 区役所に行きやすいよう赤バスがあれば助かる。
- 移動スーパーや昔あった赤バス等の移動手段が増えたら良い。
- 乗り合いバスの運行がほしい。家の近くに停車、買い物、医療機関などにバス料金でタクシー並みに融通がきくもの。
- 鶴見、諸口、焼野、浜、茨田大宮などの各住宅や鶴見区役所(図書館、福祉会館)をめぐり、敬老優待乗車証が使用できる赤バスがほしい。

【防犯・交通安全に関すること】

- 街灯の設置・増設。
- 街灯が暗い所がある。
- 街灯が薄暗く安心安全を感じない。
- 夜間に暗い場所を点検確認し、夜間ライトを設置。
- 通学路等の狭い道が夜間危ないため、もっと明るくなればよい。
- 街灯や防犯カメラの設置・増設。
- 防犯カメラの設置・増設。
- 防犯カメラを増設し、車上荒らし等の監視強化、街灯を増設し、夜間の安全を強化してほしい。
- 防犯カメラの設置。警察官が暗い道や人通りの少ない道を巡回。車が突っ込まないように各交差点の歩道の角にポールを設置。
- 自宅の防犯カメラへの補助金。どんな詐欺等の犯罪が多いかを周知。
- 車やトラックの路駐を減らす。
- 暴走バイクや改造バイクの取り締まり。
- 電動自転車の取り締まり。
- 不法外国人対策。
- 町内班長会の活用、地域の連合防犯の定例化。防犯パトロールの開催数の増加、誰もが気軽に参加できる仕組みづくりを。
- 子ども達の登下校中の見守り、パトロール、声かけ強化など。
- 小中学生の登下校時の交通事故対策として、見守り人員の増加と交通整理の強化が必要。
- 通学・通勤時間に、大きな交差点や駅前で、交通安全の旗を持った方や警察官の配備し見守りをしてほしい。事故が多いので子どもだけでなく、みんなに優しいまちづくりをしてもらいたい。
- 警察官の巡回を増やしてほしい。不審な業者への対策として青色防犯パトロール車による巡回とアナウンスが効果的。
- 警察の取り締まり強化。
- パトカーの巡回(平常時、細い道)。
- 夜中に爆音を鳴らしてバイクが走行しているのに警察が取り締まってないように思う。日中は多

いのに夜中にパトカーが巡回していないのはなぜ。

- 交番に常に職員がいるようにしてほしい。
- 鶴見緑地でひったくりを目撃し通報したところ守口警察署が来た。安まちメールには城東区・鶴見区で登録し、守口市では登録していなかったからだと思うが、安まちメールが来なかった。市民の身近な安全に関わることなので、緑地内の事件は管轄した警察署に関わらず広く周知してほしい。
- 大阪は信号がない横断歩道で車が停まらないため、押しボタン式信号機を設置してほしい。
- スピードを出す車が多いため対策してほしい。十字路にミラーをつけてほしい。
- 公園や駅前周辺の放置自転車対策と危険な自転車等への走行の注意勧告。
- 自転車の安全運転。
- 自転車がスピードを出して歩道を走ると危険なため改善してほしい。
- 鶴見警察署と連携し小中高生に自転車のルールを指導してほしい。
- 横断歩道を使わず横断する高齢者をよくみかけるため、高齢者の交通マナーに気を付ける。
- 今津橋の歩行者の通行を通勤通学時は一方通行にしてほしい。
- 歩道内等の対面交通を(基本)左側にする。
- 交通安全・防犯に関するイベントの実施、案内の強化。立ち寄ってみようかなと思えるラフなイベントで、子ども楽しみながら学べればよい。子どもが安心して暮らせるまちこそ万人が安全で暮らせるまちだと思う。

【防災に関すること】

- 町会の防災訓練時に、指定避難場所への移動訓練を実施する。
- 10代20代も使用するSNSで災害時の避難場所や災害時に取るべき行動などを発信する。
- 年1回家庭へ備蓄品配布。
- スマホのカメラ機能を使った救急・救命活動など
- 鶴見区の校区は小学校が端にある事も多く、避難場所(小学校)が遠くて不安なので、より近い小学校でも良いことにしてほしい。

【その他】

- 減税。
- なるべく区役所に行かないですむシステムが欲しい。
- 手続きが複雑で、役所に電話して確認しないとわからないし、確認したのに足りないと言われる。職員もわかってない。職員でも理解できる手続きにしてほしい。
- 自己管理の徹底・周囲の把握。
- 外国人への生活保護支給をやめて日本人のために使ってほしい。
- クーラー等の業者による清掃サービスを無料で提供。
- イベント以外でもつるりっぷを見たい。ふつうに道を歩いてほしい。

第2回 鶴見区民アンケート

- 質問ごとに選択肢から答えを選び、□に ✓ をつけてください。
- 「その他」については、() に具体的な内容を記入してください。

貴重なお時間を頂戴することとなりますが、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

1. 情報の入手について

問1 あなたは、鶴見区役所が実施する広報（『広報つるみ』、区ホームページ、SNS、区広報板など）で、必要とする区政情報が必要なときに入手できていますか。（1つ選んでください）

- | | |
|--------------------------------------|----------|
| ☐ 1 できている | } (⇒問2へ) |
| ☐ 2 ほぼできている | |
| ☐ 3 あまりできていない | } (⇒問3へ) |
| ☐ 4 できていない | |



※鶴見区役所広報紙（「広報つるみ」）毎月発行

問2は、問1で「1 できている」又は「2 ほぼできている」と回答された方のみお答えください。

問2 どのような媒体を通じて、よく入手していますか（いくつでも選んでください）（⇒問4へ）

- ☐ 1 鶴見区役所 広報紙（「広報つるみ」）
- ☐ 2 鶴見区役所 ホームページ
- ☐ 3 鶴見区役所 X（旧ツイッター）
- ☐ 4 鶴見区役所 フェイスブック
- ☐ 5 大阪市 LINE 公式アカウント
- ☐ 6 鶴見区役所 YouTube
- ☐ 7 鶴見区役所 広報板
- ☐ 8 町会掲示板（※区役所からの依頼分）

問3 その理由は何ですか（1つ選んでください）（⇒問4へ）

- ☐ 1 発信される情報が自身に関わりがないため
- ☐ 2 発信される情報の頻度や更新が少ないため
- ☐ 3 発信される情報の媒体に目を触れる機会が少ないため
- ☐ 4 そもそも区政情報を必要としていない
- ☐ 5 その他 ()

(1つ選んでください)

- ☐ 1 高まった
- ☐ 2 少し高まった
- ☐ 3 あまり高まらなかった
- ☐ 4 全然高まらなかった

(1つ選んでください)

- ☐ 1 意識して取り組んでいる
- ☐ 2 意識して取り組んでいない



【SDGs に関連する取組例】

- ・ごみの分別をきちんとする
- ・水や電気の無駄使いを減らす
- ・油分を拭き取ってから食器を洗う
- ・買い替える際には、省エネ型の機種や電球を選択する
- ・冷蔵庫を確認し、食品ロスを減らす努力をする
- ・なるべく地元産の食材を買う（地産地消） など

問6 鶴見区では、町会などによる住民主体の手作りの活動（お祭りや子ども向けのイベント、防災・防犯、通学路の見守りなど）が実施されています。また、区内の各種団体が構成される実行委員会によって、**区民まつり**が毎年10月に実施されています。

鶴見区は、昭和49年の行政区再編成によって城東区から分区し、令和6年に区制50周年を迎えました。そのため鶴見区役所では、「鶴見区制50周年記念事業実行委員会」と連携し、本年7月21日には**区制50周年記念式典・音楽祭**、10月27日には**区制50周年記念イベント**に取り組んできました。

これらの一連の取組みは、あなたにとって鶴見区への愛着を高めることにつながっていると感じますか。（1つ選んでください）

- ☐ 1 感じる
- ☐ 2 感じない
- ☐ 3 わからない

問7 あなたは、鶴見区が花や緑あふれるまちと感じますか。（1つ選んでください）

- ☐ 1 感じる
- ☐ 2 どちらかといえば感じる
- ☐ 3 どちらかといえば感じない
- ☐ 4 感じない



3. まなびを通じたつながりづくりについて

問8 鶴見区役所では、「人権啓発推進セミナー」「ヒューマンシアター」「校下別人権学習会」「人権啓発イベント」「人材育成講座」「街頭啓発」などの**人権教育・啓発の取組み**を行っています。

あなたは、鶴見区役所で実施している取組みを通して、「一人ひとりが互いに認め合い、受け容れ、ともに生きる」人権尊重のまちづくりが進んでいると感じますか。

（1つ選んでください）

- | | | |
|---|---|---------|
| ☐ 1 感じる | } | (⇒問10へ) |
| ☐ 2 どちらかといえば感じる | | |
| ☐ 3 どちらかといえば感じない | } | (⇒問9へ) |
| ☐ 4 感じない | | |

問 13 鶴見区では、小学校区単位で地域のさまざまな課題解決のため「地域活動協議会」が活動しており、地域防災力向上のため、学校や公園などで防災訓練を実施しています。

あなたは、これまで鶴見区内で開催された防災訓練に参加したことがありますか。

(1つ選んでください)

- ☐ 1 参加したことがある (⇒問 15 へ)
- ☐ 2 参加したことがない (⇒問 14 へ)

問 14 は、問 13 で「2 参加したことがない」と回答された方のみお答えください。

問 14 **その理由は何ですか？ (いくつでも選んでください) (⇒問 15 へ)**

- ☐ 1 時間がないから・仕事や家庭の都合がつかないから
- ☐ 2 訓練をすることを知らなかったから
- ☐ 3 自分が参加してもいいのかわからなかったから
- ☐ 4 どんな訓練をするかわからなかったから
- ☐ 5 訓練に参加する必要があると考えているから
- ☐ 6 その他 ()



問 15 鶴見区役所では、地域で実施されている防災訓練のほか、さまざまな防災事業を行っています。**あなたが知っている防災事業を選んでください。(いくつでも選んでください)**

- ☐ 1 公園や学校などにある防災資機材庫への資機材配備
(可搬式ポンプや救助資機材など)
- ☐ 2 各地域や学校での防災学習会の支援や出前講座
- ☐ 3 鶴見区防災マップ
- ☐ 4 鶴見区安全・安心フェスタ
- ☐ 5 地域防災リーダー (※) の育成
- ☐ 6 知らない



※地域防災リーダーとは

災害時の初期初動において、消火・救出救護活動を行う地域のリーダーとして、平時より訓練や啓発活動に取り組む方々です。

問 16 鶴見区役所では、地震や風水害など危機事象ごとの計画をまとめた「鶴見区防災計画」
（鶴見区ホームページに掲載）について作成しています。

あなたは、「鶴見区防災計画」などの取組みを知っていますか。（1つ選んでください）

- ☐ 1 内容、取組みを知っている
- ☐ 2 見たことはあるが、内容、取組みは知らない
- ☐ 3 知らない



こちらから
確認できます

問 17 鶴見区役所では、大阪防災アプリの活用推奨をはじめ、さまざまな媒体を用いて防災に
関する情報発信を行っています。

**あなたが防災に関する発信方法で有効だと思う媒体を選んでください。（いくつでも選
んでください）**

- ☐ 1 鶴見区役所 **広報紙**（「広報つるみ」）
- ☐ 2 鶴見区役所 **ホームページ**
- ☐ 3 鶴見区役所 **X**（旧ツイッター）
- ☐ 4 鶴見区役所 **フェイスブック**
- ☐ 5 大阪市 **LINE 公式アカウント**
- ☐ 6 鶴見区役所 **YouTube**
- ☐ 7 鶴見区役所 **広報板**
- ☐ 8 **駅構内の広報掲示板**
- ☐ 9 **町会掲示板**（※区役所からの依頼分）
- ☐ 10 鶴見区役所が主催する**各イベントにおけるチラシ配布**
- ☐ 11 **大阪防災アプリ**
- ☐ 12 その他（ ）

問 18 **あなたは、鶴見区役所で実施している取組み（区民の防災意識の向上や地域防災
力の強化に向けた支援など）が、今後の災害に対する備えにつながっていると感
じますか。（1つ選んでください）**

- ☐ 1 感じる
- ☐ 2 どちらかといえば感じる
- ☐ 3 どちらかといえば感じない
- ☐ 4 感じない

5. 安全で住みやすいまちづくりについて

問 19 鶴見区役所では、さまざまな防犯事業(※)に取り組んでいます。

あなたは、鶴見区が実施している防犯事業が、区の犯罪抑止につながっていると感じますか。(1つ選んでください)

- ☐ 1 感じる
- ☐ 2 どちらかといえば感じる
- ☐ 3 どちらかといえば感じない
- ☐ 4 感じない

※鶴見区役所が実施している防犯事業

- ・自転車ひたくり防止カバーキャンペーン ・防犯カメラの設置・街路防犯灯の助成
- ・毎月 26 日の自転車盗難防止啓発のための 2 重 (ツー) ロックキャンペーン
- ・青色防犯パトロール車による巡回 ・小学生の下校時にあわせた鶴見区防犯の日一斉行動

問 20 あなたは、鶴見区は安全で住みやすいまちと感じますか。(1つ選んでください)

- ☐ 1 感じる
- ☐ 2 どちらかといえば感じる
- ☐ 3 どちらかといえば感じない
- ☐ 4 感じない

6. 鶴見区全般について

問 21 今後、だれもが安心して暮らせるまちづくりを進めるにあたり、取り組んだらよいと思うアイデア等がありましたら、ご記入ください。

7. あなたご自身について

問 22 あなたの性別をお答えください。(1つ選んでください)

- ☐ 1 男 ☐ 2 女 ☐ 3 その他

問 23 あなたの年齢をお答えください。(1つ選んでください)

- ☐ 1 30 歳未満 ☐ 2 30～39 歳 ☐ 3 40～49 歳
☐ 4 50～59 歳 ☐ 5 60～69 歳 ☐ 6 70 歳以上

問 24 あなたの世帯に、現在中学生以下のお子さまはいますか。(1つ選んでください)

- ☐ 1 いる ☐ 2 いない

問 25 あなたのお住まいの地域をお答えください。(1つ選んでください)

- ☐ 1 緑地域 (みどり小学校区、新森小路小学校区)
☐ 2 鶴見北地域 (鶴見小学校区) ☐ 3 鶴見地域 (鶴見南小学校区)
☐ 4 榎本地域 (榎本小学校区) ☐ 5 今津地域 (今津小学校区)
☐ 6 茨田南地域 (茨田南小学校区) ☐ 7 茨田地域 (茨田小学校区)
☐ 8 茨田東地域 (茨田東小学校区) ☐ 9 茨田北地域 (茨田北小学校区)
☐ 10 焼野地域 (焼野小学校区) ☐ 11 茨田西地域 (茨田西小学校区)
☐ 12 横堤地域 (横堤小学校区) ☐ 13 分からない

問 26 あなたは鶴見区にお住まいになって何年ですか。(1つ選んでください)

- ☐ 1 1 年未満 ☐ 2 1 年以上 5 年未満
☐ 3 5 年以上 10 年未満 ☐ 4 10 年以上

ご協力ありがとうございました



お手数ですが 令和 6 年 12 月 23 日 (月) までに、
この用紙を同封の返送用封筒に入れ、切手を貼らずに投函してください。